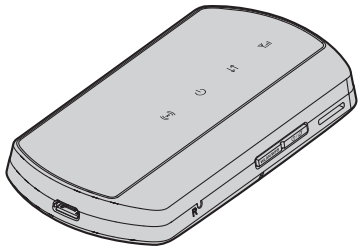
netindex

RS-CV0C

MOBILE ROUTER



取扱説明書

はじめに

このたびは、MOBILE ROUTER RS-CV0C（以降、本製品と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、安全に正しくお取り扱いください。特に「安全上のご注意」（☞ 4〜12ページ）と「ご使用上のお願い」（☞ 13〜16ページ）は、必ずお読みいただき、安全に正しくお取り扱いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

おことわり

本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
本書の内容については万全を期してはおりますが、正確性を保証するものではありません。万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

■ご注意

- ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、予告なく変更されることがあります。
- 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■商標について

- Windows®は、Microsoft® Windows® operating systemの略称、Windows® XPはMicrosoft® Windows® XP operating systemの略称、Windows Vista®はWindows Vista® operating systemの略称、Windows® 7はMicrosoft® Windows® 7 operating systemの略称として記載しています。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®およびReadyBoost®は、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacおよびMac OS、Safariは米国およびその他の国で登録された米国Apple. Inc.の登録商標または商標です。

- Wi-Fi®、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- UPnPはUPnP Implementers Corporationの商標です。
- Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

表示の説明

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。	この表示は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

図記号表示の説明

この絵表示は、してはいけない[禁止]の内容を示しています。	この絵表示は、分解してはいけない[禁止]内容を示しています。	この絵表示は、必ず実行していただく[強制]内容を示しています。	電源プラグをコンセントから抜いていただく[強制]内容を示しています。

免責事項について

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

本体・電池パック・ACアダプタ、USBケーブル共通

⚠危険 必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず専用の周辺機器をご使用ください。
発熱・発火・破裂・故障・液漏れの原因となります。

本製品周辺機器
- 電池パック<JKRLIPL-100>
- ACアダプタ<JKRADP-100>
- USBケーブル<JKRCBL-100>

引火や爆発のおそれがある場所(ガソリンスタンドなど)、高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)や引火性ガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。
爆発・発火・破裂・故障・火災の原因となります。

電子レンジや高温容器などの中に入れないでください。
発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入れたりしないようにしてください。
火災・故障の原因となります。

ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。
火災・感電・傷害・故障の原因となります。

⚠警告 必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
発熱・発火・破裂・故障・液漏れ・けがの原因となります。

分解や改造をしないでください。
故障・発火・感電・傷害の原因となります。修理などは当社窓口にご相談ください。

水などの液体をかけたりしないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。
感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。（雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。）
万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。水に濡れた場合や湿気による故障は保証外となり、修理ができません。

⚠注意 必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。

電池カバーを取り外したまま使用しないでください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
変形・故障の原因となる場合があります。

温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
内部に結露が発生し、感電・火災・誤動作・故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

幼児の手の届く場所には置かないでください。
傷害などの原因となる場合があります。

無理な力がかかるところ(ズボンのポケット、かばんの底など)に入れないでください。
破損・故障の原因となります。

湿気の多い場所で使用しないでください。
身に付けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水に濡れた場合や湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理できません。

お客様による修理などは危険ですから、絶対にしないでください。

使用中に煙が出る、においがする、異常な音がする、発熱しているなど異常が起きたら使用をしないでください。
異常が起きた場合は電源を切り、電池パックや接続機器、ACアダプタを外してご連絡ください。また、水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などもそのまま使用せず、ご連絡ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

動作中の本体・電池パック・USBケーブル・ACアダプタに長時間触れないでください。
低温やけどの原因となる場合があります。

本体について

⚠警告 必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。

運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、航空機内では使用しないでください。（電源をお切りください。）
電子機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカや医療機器（補聴器など）の近くで使用しないでください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与える場合がありますので、以下のことを守ってください。

1. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、電源を切ってください。
2. 医療機関の屋内では以下のことに注意してください。
   - 手術中・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には持ち込まないでください。
   - 病棟内では電源を切ってください。
   - ロビーなどであっても付近に医療機器がある場合は電源を切ってください。
   - 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

通気孔をふさがないでください。
内部に熱がこもり、感電・火災・誤動作・故障の原因となる場合があります。

機器内部（端子部、通気孔など）に金属物などの異物を入れないでください。
発熱・発火・感電・故障の原因となります。

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。
電子機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
（影響を及ぼすおそれがある機器の例：ペースメーカ・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

電池パックについて

本製品の電池パックはリチウムポリマー電池です。
電池パックはお買い上げ時には十分充電されていません。
必ず充電してからお使いください。
本製品で使用できる電池パックは(JKRLIPL-100)です。
これ以外の電池パックは使用しないでください。
なお、電池パックの取り扱いについては、「電池パックについて」(☞ 14ページ)」をご参照ください。

⚠危険

誤った取り扱いをすると、発熱・液漏れ・破裂のおそれがあり危険です。必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。

⊕⊖端子およびもう1つある端子部分はショートさせないでください。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片などと接続端子が触れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。
電池パック内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破損の原因となります。

電池パックを水や海水などで濡らさないでください。
電池パックが濡れると、発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックや接続機器を外してください。

破損や液漏れした電池パック、濡れた電池パックは使用しないでください。

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。
目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

充電する場合は、必ず専用のUSBケーブルとACアダプタを使用してください。
- ACアダプタ <JKRADP-100>
- USBケーブル <JKRCBL-100>

USBケーブル/ACアダプタについて

⚠警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、以下の警告事項をよくお読みになってからお使いください。**

指定のUSBケーブルおよびACアダプタを使用し、指定以外の電源電圧では使用しないでください。
火災や感電などの原因となります。

ACアダプタの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全な場合、感電や発熱・発火による火災の原因となります。ゆるんだコンセントは使用しないでください。

雷が鳴り出したらACアダプタの電源プラグに触れないでください。
落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。
また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

水など液体がかからない場所で使用してください。
発熱・火災・感電のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

USBケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。
感電・ショート・火災の原因となります。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず以下の注意事項をお読みになってからお使いください。

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。
傾いたところや、ぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。本製品が外れたり、火災や故障の原因となります。

濡れた電池パックを使用しないでください。

ACアダプタの電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。

USIMカードについて

⚠警告 **必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って口に入れたり、飲み込んだり、けがなどの原因となります。

⚠注意 **必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

USIMカードに無理な力を加えないでください。
破損する原因となります。

本製品へUSIMカードを脱着する際、必要以上の力をかけないでください。
USIMカードまたは本製品の破損、手や指を傷つける原因となります。

USIMカードを分解、改造をしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

他社製品のICカードを本製品に取り付けないでください。
本製品が故障するおそれがあります。また、指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。
故障した場合、お客様の責任となり、当社では一切の責任を負いません。

IC部を傷つけないでください。また、ショートさせないでください。
故障の原因となります。

ご使用上のお願い

お取り扱いについて

- **本製品を次のような場所で使用したり、放置したりしないでください。**
  - 極度に高温や低温の場所
  - 湿気が多い場所や水がかかる場所
  - 静電気が発生する場所
  - 薬品や有害なガスに触れる可能性のある場所
  - 直射日光のあたる場所
  - ほこりや振動の多い場所
  - 小さいお子様の手の届く場所
- **本製品を落とすなど、強い衝撃を与えないでください。**
- **本製品を曲げたり、重いものを載せたり、無理な力を加えないでください。**
- **電子レンジ(電磁波が発生しているところ)の近くで本製品を使用しないでください。電子レンジの近くで使用すると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。本製品を電子レンジから離して使用してください。**
- **万一、本製品から異常な発熱・発煙・異臭が生じた場合は、直ちにご使用を中止してください。**(電池パックや接続機器、ACアダプタを外す)
  お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。
- **使用中、本製品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用すると、低温やけど※になることがあります。**
- **お手入れの際は、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などは使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。**
- **電池パックは、本体の電源スイッチを切り、ACアダプタの電源プラグを抜いてから取り外してください。**
- **寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本体内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますので、結露がなくなるまで使用しないでください。**
- **エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。**
- **水をかけないでください。本製品は、防水仕様になっておりません。**

※ 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものが、皮膚の同じ場所に長時間直接触れていると、低温やけどになることがあります。

電波について

- **本製品は2.4 ～ 2.4835 GHzの帯域を使用する無線設備（第二世代小電力データ通信システム）であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40 mです。本製品には、それを示す右記のマークが貼付されています。**
- **本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。**
- **本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。**
  - 本製品を分解/改造すること
  - 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

■無線LAN機器の電波に関するご注意

本製品をIEEE802.11b、IEEE802.11gで利用時は、2.4 GHz帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3 その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、お買い上げ時にご案内するお問合せ先にご連絡ください。

電池パックについて

- **夏季、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。**
- **長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。（充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。）**
- **電池パックには寿命があります。充電をくり返すうちに利用可能時間は徐々に短くなります。**
- **不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。廃棄方法については「携帯電話/PHSのリサイクルについて」（☞ 16ページ）をご参照ください。**

USBケーブル/ACアダプタについて

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- 充電中、周囲の温度が高いか、もしくは低いと保護機能はたらき、充電できない場合があります。USBケーブル・ACアダプタを外し、周囲温度が0℃～45℃の場所にしばらく置いてから、再度充電してください。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**
  悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- **不正に侵入される**
  悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定を取扱説明書に従って行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。〔修理などはお買い上げ時にご案内するお問合せ先にご相談ください。〕
- 本製品は日本国内用です。日本国外での利用はできません。本製品をご使用の際は、各地域の法令や政令などによって使用の禁止または制限がないかご確認ください。
- 本製品の使用、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他
  直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  重要なデータに関しては、万一に備えてバックアップ(複製)を行ってください。

携帯電話/PHSのリサイクルについて

携帯電話/PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となった携帯電話・PHSの本体、バッテリー、充電器を、ブランド/メーカーを問わず、モバイル・リサイクル・ネットワークのマーク（下記マーク）のある店舗で、無償で回収し、リサイクルを行っています。

やむを得ず廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。
梱包材、同梱物についても分別にご協力ください。

この製品には、リチウムポリマー電池を使用しています。
リチウムポリマー電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- 環境保護のため、寿命がきた電池パックは普通のゴミと一緒に捨てずにリサイクル協力店などにお持ちください。
- リサイクルのときは、分解したり、ショートさせないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
有限責任中間法人JBRC
TEL：03-6403-5673　　ホームページ：http://www.jbrc.com

特長

■強固な無線セキュリティWPA/WPA2に対応※1

64/128 bitのWEP機能に加え、強固な無線セキュリティ規格のWPA（Wi-Fi Protected Access）/WPA2にも対応しています。

■IEEE802.11b/gに対応

IEEE802.11b：最大11 Mbps※2

IEEE802.11g：最大54 Mbps※2

■Webブラウザによる設定※3

各種設定はWebブラウザで簡単に行うことが可能です。設定画面はパスワードで保護します。

■WPS（簡単無線設定機能）に対応※4

PIN方式の設定だけでなく、WPSボタンを押すだけで、簡単に無線LAN接続を設定できます。

※1　WPA/WPA2を利用するためには、接続先の無線LAN機器もWPAに対応している必要があります。

※2　伝送速度の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※3　一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。

※4　WPSを利用するためには、接続する無線LAN機器もWPSに対応している必要があります。

もくじ

■はじめに…… 2
■おことわり…… 2
■安全上のご注意…… 4
安全にお使いいただくために必ずお読みください …… 4
免責事項について …… 4
本体・電池パック・ACアダプタ、USBケーブル共通 …… 5
本体について …… 8
電池パックについて …… 9
USBケーブル/ACアダプタについて…… 10
USIMカードについて …… 12
■ご使用上のお願い…… 13
お取り扱いについて …… 13
電波について …… 14
電池パックについて …… 14
USBケーブル/ACアダプタについて…… 15
無線LANをご使用になるにあたってのご注意 …… 15
その他 …… 16
■携帯電話/PHSのリサイクルについて …… 16
■特長…… 17

1 ご使用になる前に
同梱品の確認…… 22
システム要件…… 23
各部の名称とはたらき…… 24
ご利用になる前に…… 26
USIMカードと電池パックの取り付け方 …… 26
USIMカードと電池パックの取り外し方 …… 27
microSDカードの取り付け方…… 28
ACアダプタを接続する/充電する …… 29
電源を入れる/切る …… 30

2 無線LANで接続する
設定用パソコンの準備をする…… 32
ネットワーク設定を行う…… 32
本製品に無線LANで接続する …… 35
無線LAN機器をネットワークに接続する …… 38
はじめにご確認ください…… 38
WPSボタンを使って接続する …… 39
PINコードを使って接続する …… 41
手動設定で接続する…… 41
インターネットに接続する…… 42

3
USBケーブルで接続する

WindowsパソコンにUSBケーブルで接続する 44
Windowsパソコンに本製品を接続する …… 44
RS-CV0Cドライバをインストールする…… 44
インストーラーが自動的に起動しない場合 …… 48
インターネットに接続する…… 49
microSDカードを使用する…… 50
Windowsパソコンから本製品を取り外す … 51
RS-CV0Cドライバをアンインストールする… 52
MacにUSBケーブルで接続する …… 55
Macに本製品を接続する…… 55
RS-CV0Cドライバをインストールする…… 55
ネットワークインターフェースを構成する 59
インターネットに接続する…… 61
microSDカードを使用する…… 62
Macから本製品を取り出す…… 62
RS-CV0Cドライバをアンインストールする… 63

4
基本設定

ホーム画面を表示する…… 66
基本設定を行う…… 68
管理者パスワードの変更…… 68
無線LANネットワーク名(SSID)の設定 …… 69
無線LANセキュリティ設定 …… 69
WPS機能 …… 72
基本設定の完了…… 73

5
詳細設定

詳細設定…… 76
無線LAN…… 77
無線LAN設定：基本設定 …… 78
無線LAN設定：拡張設定 …… 79
セキュリティ設定…… 80
MACフィルタリング …… 83
WPS設定 …… 85
3G設定 …… 86
3G接続設定 …… 86
PIN設定 …… 91

5 詳細設定

ルーター設定…… 98
LAN設定…… 98
静的DHCP ……100
IPフィルタリング……102
URLフィルタリング……103
デバイスリスト……105
NAT設定……106
アプリケーション……106
システム設定……107
基本設定……107
パスワード設定……108
言語設定……109
パワーセービングモード(スリープモード)
……110
システムログ……110
設定データ……111
設定内容の初期化(リセット)……112
設定内容の保存・読み込み……112

6 状態表示・デバイス操作

デバイス状態……114
手動接続・切断……117
電源を切る……118

7 付録

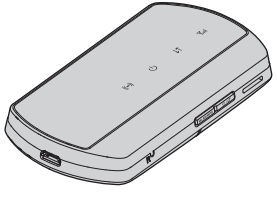
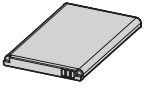
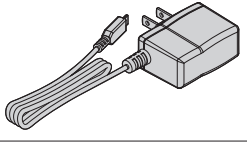
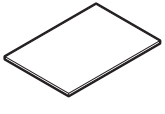
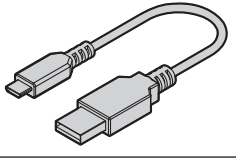
困ったときは……120
用語集……124
仕様……127

1 ご使用になる前に

同梱品の確認…… **22**
システム要件…… **23**
各部の名称とはたらき…… **24**
ご利用になる前に…… **26**
USIMカードと電池パックの取り付け方 …… 26
USIMカードと電池パックの取り外し方 …… 27
microSDカードの取り付け方…… 28
ACアダプタを接続する/充電する …… 29
電源を入れる/切る …… 30

同梱品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●**本体**（RS-CV0C） 	●**電池パック**（JKRLIPL-100）  ●**ACアダプタ**（JKRADP-100） 
●**かんたんセットアップガイド兼保証書** 	●**USBケーブル**（JKRCBL-100） 

システム要件

本製品を快適にお使いいただくには、以下のシステム要件を満たしている必要があります。

■パソコン

本製品を設定する場合、および本製品をネットワークアダプタとしてご使用される場合に必要です。

OS：Microsoft Windows 7（32bit/64bit）、Microsoft Windows Vista（32bit/64bit）、
Microsoft Windows XP（32bit）、Mac OS X（10.4.11以降）

無線LANインターフェース：IEEE802.11b/g

ブラウザ：Internet Explorer 7、8
Safari 3、4、5

■無線LAN機器

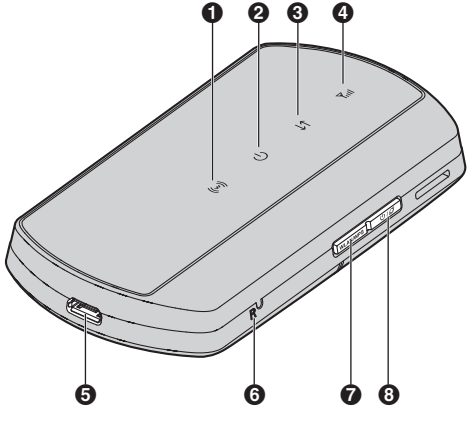
〈無線LANインターフェース（IEEE802.11b/g）が使用可能な機器〉

パソコン、スマートフォン、携帯ゲーム機など

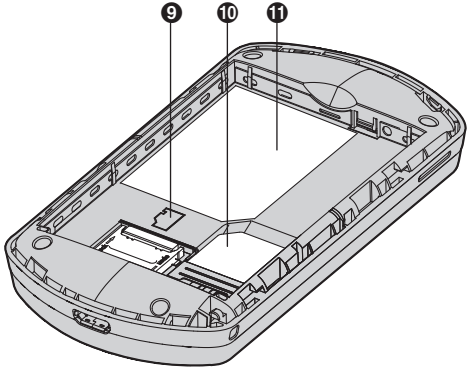
接続動作確認済みの無線LAN機器は以下の通りです。（2011年3月現在）
最新情報は、当社ホームページhttp://www.netindex.co.jpに掲載しています。

- Windows 7/XP/Vista搭載PC（無線LAN内蔵タイプ）
- Mac（無線LAN内蔵タイプ）
- 無線LAN搭載各種ゲーム機
- 無線LAN搭載スマートフォン

各部の名称とはたらき



本体裏面（電池カバーを外したところ）



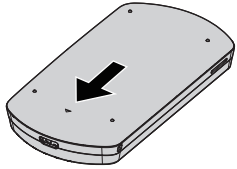
名　称	点灯状態	表示の意味
❶WiFi/WPSランプ	青点滅(おそい)	WiFiオン
	緑点滅(はやい)	WPS接続確立中
	緑点灯(5秒間)	WPS接続確立完了
	赤点灯(5秒間)	WPS接続確立失敗
	消灯	WiFiオフ/電源オフ/スリープモード
❷電源ランプ	青点灯	正常
	緑点灯	電池残量「小」
	赤点灯	電池残量がほとんど残っていません。ただちに充電してください。 • 自動的に電源オフになります。
	緑点滅(ゆっくり)	充電状態 • 充電完了で青点灯に変わります。
	ゆっくりした点滅	通常状態 • 表示色は電池残量状態によって異なります。
❸ネットワークランプ	緑点滅(はやい)	発信中
	青点滅(おそい)	インターネット接続待ち
	青点灯	インターネット接続完了
	赤点滅(はやい)	発信失敗
	消灯	電源オフ、通常動作モード、スリープモード
❹3Gアンテナランプ	赤点灯	圏外/USIMエラー/PIN認証失敗
	緑点灯	アンテナレベル低
	青点灯	アンテナレベル高
	消灯	電源オフ/スリープモード

名　称	はたらき
❺microUSBポート	ACアダプタ、またはUSBケーブルを接続します。
❻リセットボタン	本製品を再起動またはお買い上げ時の設定に戻します。再起動するには、リセットボタンを先のとがったもので押します。お買い上げ時の設定に戻すには、4秒以上押します。
❼WLAN/WPSボタン	短押し(約1秒)することにより無線LANをオン/オフします。WPS機能を使用する場合は、無線LANがオンの状態でWiFi/WPSランプが緑点滅になるまで長押ししてください。
❽電源/コネクトボタン	長押し(約3秒)押して、本体の電源を入/切します。 短押し(約1秒)押して、インターネットに接続/切断します。
❾microSDカードスロット	microSDカードを挿入します。
❿USIMスロット	USIMカードを挿入します。
⓫デバイスラベル	MACアドレスが記載されています。

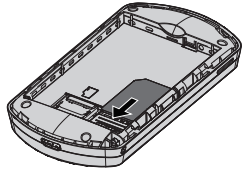
ご利用になる前に

USIMカードと電池パックの取り付け方

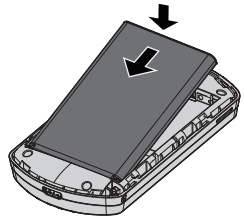
1 本製品の電池カバーを外す



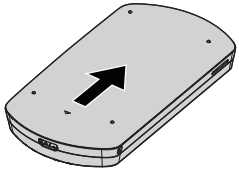
2 USIMカードのIC部分を下にして、矢印の方向にUSIMカードを取り付ける



3 本製品と電池パックの端子部を合わせるようにして、電池パックをセットする

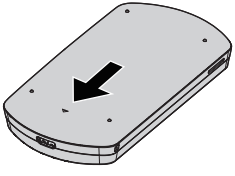


4 電池カバーを取り付ける

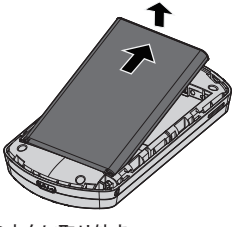


USIMカードと電池パックの取り外し方

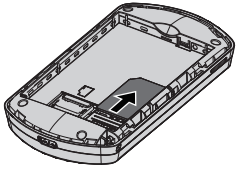
1 本製品の電池カバーを外す



2 電池パックを矢印の方向に持ち上げて取り外す



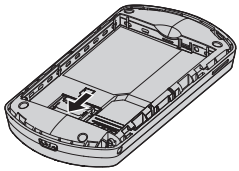
3 USIMカードを矢印の方向に取り外す



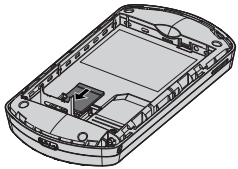
microSDカードの取り付け方

1 電池カバーを取り外す

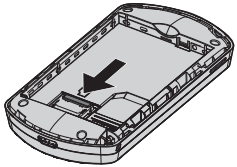
- microSDカードコネクタの金属フレームを矢印の方向へカチッと感触のあるところまでスライドさせ、持ち上げます。



2 microSDカードを図で示す向きに合わせて、microSDカードコネクタ部へ載せ、金属フレームを元の位置に戻す



3 矢印の方向へカチッと感触のあるところまでスライドさせる



ACアダプタを接続する/充電する

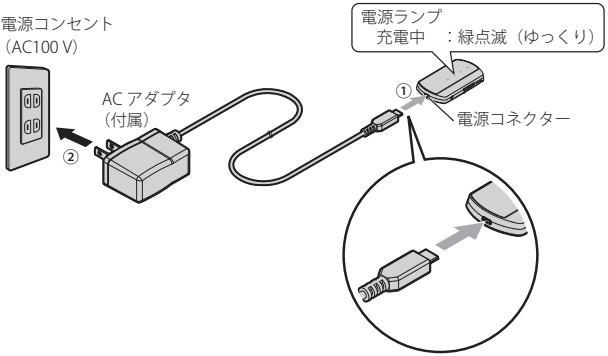
電池パックは、お買い上げ時には十分充電されていません。本製品を持ち運んで使うには、必ず充電してください。

お願い

- 必ず付属のACアダプタを使用してください。それ以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作などの原因になる可能性があります。付属のACアダプタ以外を使用した場合の故障は、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

ACアダプタをmicroUSBポートに接続し、電源プラグをコンセントに差し込み充電する

- 充電中は電源ランプが緑点滅(ゆっくり)となります。
- 充電中は通信ができません。



〔充電時間と利用可能時間〕

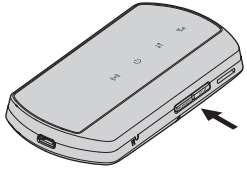
充電時間	約3時間
連続使用時間	約4時間

お知らせ

- 通信環境や使用状況によっては、利用可能時間は短くなる場合があります。
- 充電時間は、周囲の温度や電池パックの使用期間などにより異なります。

電源を入れる/切る

1 本製品の電源/コネクトボタンを約3秒押して電源を入れる



2 電源ランプが青、緑または赤点灯することを確認する

- 表示は電池残量状態によって異なります。
- ACアダプタからの充電中は緑点滅となります。

3 電源/コネクトボタンを約3秒押して電源を切る

2 無線LANで接続する

設定用パソコンの準備をする…… 32
ネットワーク設定を行う…… 32
本製品に無線LANで接続する …… 35
無線LAN機器をネットワークに接続する …… 38
はじめにご確認ください…… 38
WPSボタンを使って接続する …… 39
PINコードを使って接続する …… 41
手動設定で接続する…… 41
インターネットに接続する…… 42

設定用パソコンの準備をする

ネットワーク設定を行う

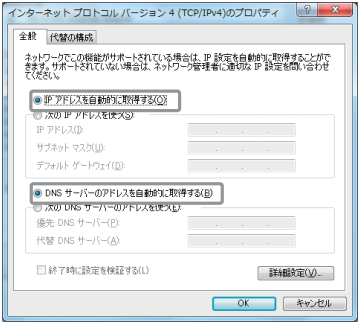
本製品のDHCPサーバの初期設定が有効になっているため、初めて本製品に無線で接続するときは、ご使用のパソコンがこのDHCPサーバのクライアントになるよう、ネットワーク設定を行う必要があります。すでにIPアドレスを自動で取得する設定にしている場合は、ネットワーク設定を行う必要はありません。「無線LAN機器をネットワークに接続する」から行ってください。

お願い

- ご使用のパソコンが無線規格IEEE802.11b/gに対応していることをご確認ください。また、無線LAN機能が有効になっているかご確認ください。
- ネットワークの設定を行うには、管理者または同等の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。

Windows 7の場合

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックする
2. 「ネットワークと共有センター」をクリックする
3. 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックする
4. 「アダプターのプロパティ」をクリックする
5. 「インターネット」タブで「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4))」を選び、「プロパティ」をクリックする
6. 「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける



7 「OK」をクリックしてプロパティ画面を閉じる

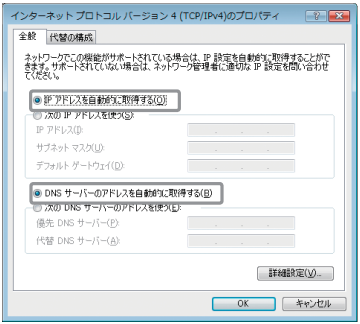
Windows Vistaの場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークの状態とタスクの表示」→「ネットワーク接続の管理」をクリックする

2 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」→「続行」をクリックする

3 「インターネット プロトコル バージョン4」を選び、「プロパティ」をクリックする

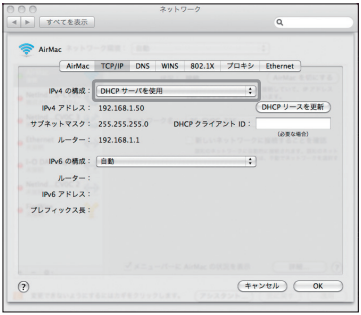
4 「全般」タブをクリックし、「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを付ける



5 「OK」をクリックしてプロパティ画面を閉じる

Mac OS X 10.6の場合

1. アップルメニューから「システム環境設定」を選び、「ネットワーク」をクリックする
2. 「AirMac」を選び、「詳細...」をクリックする
3. 「TCP/IP」タブをクリックする
4. 「DHCPサーバを使用」を選ぶ



5. 「OK」をクリックして画面を閉じる

本製品に無線LANで接続する

本製品の電源を入れ、パソコン画面で検出された無線LANネットワークから本製品のSSID（ネットワーク名）に接続してください。

	項　目	初期値
SSID	ネットワーク名	RS-CV0C_XXX XXX：MACアドレスの下3桁
	暗号化方式	なし

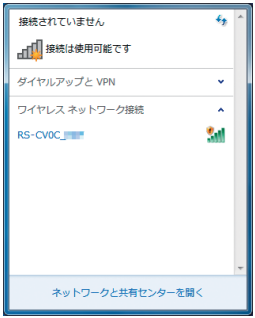
お願い

- お買い上げ時は暗号化設定が行われていませんので、セキュリティの確保のため必ず暗号化設定を行ってください。（☞「セキュリティ設定」80ページ）
- ご使用のパソコンが無線規格IEEE802.11b/gに対応していることをご確認ください。また、無線LAN機能が有効になっているかご確認ください。
- ネットワークの設定を行うには、管理者または同等の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。

Windows 7の場合

1. 本製品の電源スイッチをONにする
2. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックする
3. 「ネットワークと共有センター」をクリックする
4. 「ネットワークに接続」をクリックする

5 本製品のネットワーク名（RS-CV0C_XXX）をクリックし、「接続」をクリックする

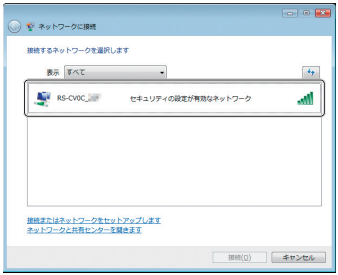


Windows Vistaの場合

1 本製品の電源スイッチをONにする

2 「スタート」→「接続先」をクリックする

3 本製品のネットワーク名（RS-CV0C_XXX）をクリックし、「接続」をクリックする



Mac OS X 10.6の場合

1. 本製品の電源スイッチをONにする
2. アップルメニューから「システム環境設定」を選び、「ネットワーク」をクリックする
3. ネットワーク画面から「AirMac」を選ぶ
4. 「ネットワーク名」から本製品のネットワーク名（RS-CV0C_XXX）を選ぶ

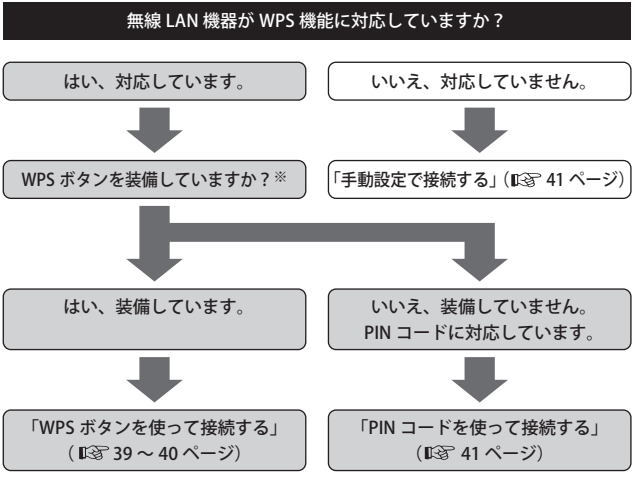
5. 「適用」をクリックする

無線LAN機器をネットワークに接続する

パソコンなどの無線LAN機器から本製品を経由して、インターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品はWPS機能に対応しています。WPS機能対応の無線LAN機器と簡単に接続設定を行うことができます。ボタンを押すだけで設定できる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PINコード方式」の両方に対応しています。
WPS機能に対応していない無線LAN機器から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線LAN機器側に設定することで接続できます。



※ WPSボタンについて

WPSの「プッシュボタン方式」は、無線LAN機器側にある「WPSボタン」を押して設定するタイプと、その製品の設定ユーティリティにある「WPSボタン」機能を使って設定するタイプがあります。

WPSボタンを使って接続する

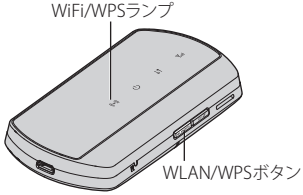
■本製品のWLAN/WPSボタンを使って接続する

❶ 本製品の電源がONになっていることを確認し、接続する無線LAN機器を本製品と確実に通信できる位置に用意する

❷ 無線LAN機器の説明書を参照して、無線LAN機器側がWPS設定できるように準備する

❸ 本製品のWLAN/WPSボタンを押す

- WiFiがON（WiFi/WPSランプがゆっくり青点滅）の状態でWLAN/WPSボタンを長押しすると、WPS対応の無線LAN機器の接続を待つ状態（WiFi/WPSランプがはやい緑点滅）になります。
- 手順❹の操作が行われずに、一定時間が経過するとWiFi/WPSランプが緑点滅から赤点灯となり、接続待ちの状態が終了してしまいます。



❹ 無線LAN機器側のWPSボタンを押す

- 接続が完了すると、WiFi/WPSランプが緑点滅から緑点灯になります。
- 無線LAN機器側で本製品に接続できたことを確認してください。
- お使いの無線LAN機器のWPSボタンの操作については、無線LAN機器の説明書をご覧ください。

■無線LAN機器側のWPSボタンを使って接続する

❶ 本製品の電源がONになっていることを確認し、接続する無線LAN機器を本製品と確実に通信できる位置に用意する

❷ 無線LAN機器の説明書を参照して、無線LAN機器側がWPS設定できるように準備する

❸ 本製品のホーム画面を表示し、「詳細設定」→「無線LAN」→「WPS」の順にクリックし、WPS設定画面を表示する

❹ 「WPS設定」の「WPS：有効」を選択して、「WPS接続」の「接続モード：PBC」を選択する

❺ 「適用」ボタンをクリックする

- 接続準備状態が完了すると無線LAN機器の接続を待つ状態（WiFi/WPSランプがはやい緑点滅）になります。
- 手順❻の操作が行われずに、一定時間が経過すると接続待ちの状態が終了して「接続モード：本体のWPSボタンから設定する」に戻ります。

❻ 無線LAN機器側のWPSボタンを押す

- 接続が完了すると、WiFi/WPSランプが緑点滅から緑点灯になります。
- 無線LAN機器側で本製品に接続できたことを確認してください。
- お使いの無線LAN機器のWPSボタンの操作については、無線LAN機器の説明書をご覧ください。

PINコードを使って接続する

WPS接続のPINコード方式で接続します。無線LAN機器側のPINコードを本製品に登録してください。

1. **本製品の電源がONになっていることを確認し、接続する無線LAN機器を本製品と確実に通信できる位置に用意する**
2. **無線LAN機器の説明書を参照して、無線LAN機器側がWPS設定できるように準備する**
3. **本製品のホーム画面を表示し、「詳細設定」→「無線LAN」→「WPS」の順にクリックし、WPS設定画面を表示する**
4. **「WPS設定」の「WPS：有効」を選択して、「WPS接続」の「接続モード：PIN」を選択する**
5. **接続する無線LAN機器のPINコードを「接続機器PINコード」欄に入力する**
6. **「適用」ボタンをクリックする**
   - 設定完了後、本製品に接続できたことを確認してください。

手動設定で接続する

パソコンを接続する場合は、「本製品に無線LANで接続する」(☞ 35ページ)を参照してください。

お使いのパソコンに独自の無線LAN設定ユーティリティがインストールされている場合は、無線LAN設定ユーティリティに下記の項目を設定することで、接続することもできます。詳しくは、お使いのユーティリティの説明書をお読みください。

	項　目	初期値※
SSID	ネットワーク名	RS-CV0C_XXX XXX：MACアドレスの下3桁
	暗号化方式	なし

※ 初期値から変更した場合は、変更後の内容を設定してください。

お願い

- お買い上げ時は暗号化設定が行われていませんので、セキュリティの確保のため必ず暗号化設定を行ってください。(☞「セキュリティ設定」80ページ)
  本製品に設定したセキュリティ設定は、無線LAN機器に対しても同様の設定を行ってください。

インターネットに接続する

本製品のお買い上げ時には3G接続モードが「自動」に設定されています。
3G接続モードの設定を変更する場合は「3G接続設定」(☞ 86ページ)を参照してください。
インターネットへ接続するには、ご契約のプロバイダより入手した接続先(APN)、ユーザー名、パスワード等の設定を確認してください。設定を変更した場合、「適用」ボタンをクリックして保存します。

■自動モードで接続する

1 本製品の電源/コネクトボタンを3秒以上押して電源を入れる

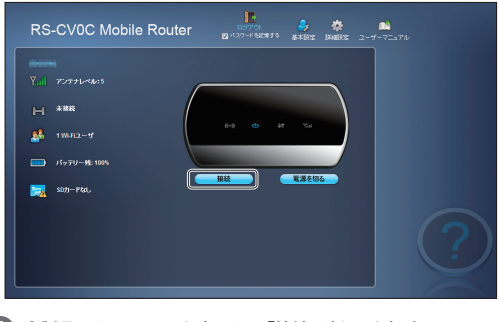
- ネットワークランプが緑点滅となり自動的に接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

■手動モードで接続する(電源/コネクトボタンを使って接続する)

1 本製品の電源/コネクトボタンを1秒以内で押す

- ネットワークランプが緑点滅となり接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

■ホーム画面の接続ボタンで使って接続する



1 本製品のホーム画面を表示し、「接続」ボタンを押す

- ネットワークランプが緑点滅となり接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

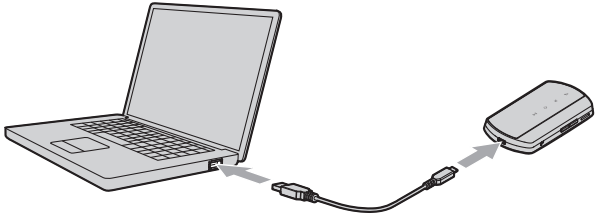
3 USB ケーブルで接続する

Windows パソコンに USB ケーブルで接続する　44
Windows パソコンに本製品を接続する …… 44
RS-CV0C ドライバをインストールする…… 44
インストーラーが自動的に起動しない場合 …… 48
インターネットに接続する…… 49
microSD カードを使用する…… 50
Windows パソコンから本製品を取り外す … 51
RS-CV0C ドライバをアンインストールする… 52
Mac に USB ケーブルで接続する …… 55
Mac に本製品を接続する…… 55
RS-CV0C ドライバをインストールする…… 55
ネットワークインターフェースを構成する　59
インターネットに接続する…… 61
microSD カードを使用する…… 62
Mac から本製品を取り出す…… 62
RS-CV0C ドライバをアンインストールする… 63

Windowsパソコンに USBケーブルで接続する

Windowsパソコンに本製品を接続する

1. USIMカードを取り付けた本製品のUSBコネクタにUSBケーブルを接続する
2. USBケーブルのもう一方のコネクタをパソコンのUSBポートに接続する



- パソコンがネットワークアダプタ（本製品）を認識します。
  本製品の電源がオン状態の場合、パソコンが本製品を認識するまで約15秒かかります。
  本製品の電源がオフ状態の場合、約25秒で電源/コネクトボタンが有効となります。電源/コネクトボタンを3秒以上押してからパソコンが本製品を認識するまで約15秒かかります。
- 本製品を初めて接続したときは、RS-CV0Cドライバのインストールが必要となります。下記の「RS-CV0Cドライバをインストールする」を参照してください。

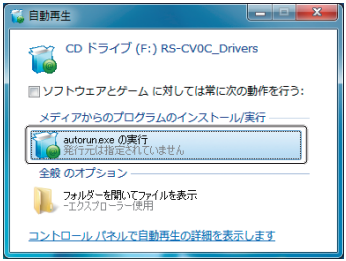
RS-CV0Cドライバをインストールする

画面表示や手順はWindows 7を例としています。

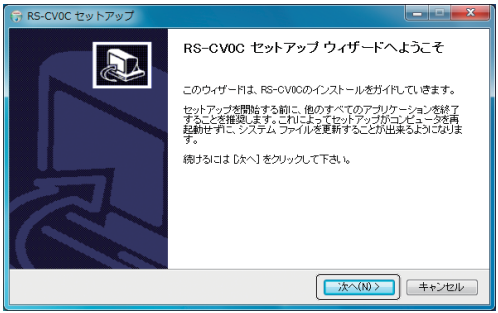
お願い

- インストール中に本製品を取り外さないでください。
  インストールが正常に行われない、システムがダウンするなどの異常を起こすおそれがあります。
- 管理者または同等の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。

1. パソコンの電源を入れ、OSを起動する
2. 本製品をパソコンに接続する
3. 「自動再生」の画面が表示されたら、「autorun.exeの実行」をクリックする

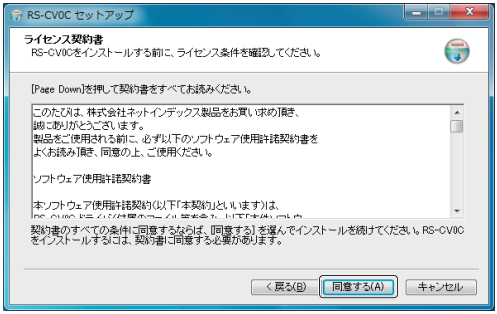


4. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「許可」をクリックする
   - インストーラーが自動的に起動し、「RS-CV0C セットアップウイザードへようこそ」の画面が表示されます。
     インストーラーが自動的に起動しない場合は「インストーラーが自動的に起動しない場合」を参照してください。
5. 「次へ」をクリックする



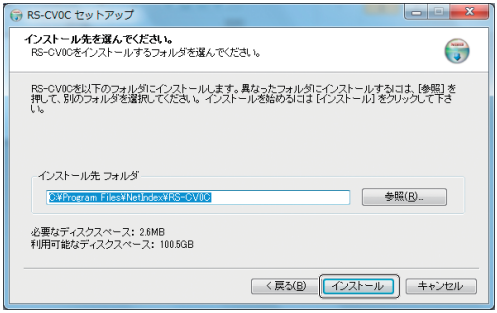
   - 「ライセンス契約書」の画面が表示されます。

6 「ライセンス契約書」に同意する場合は「同意する」をクリックする

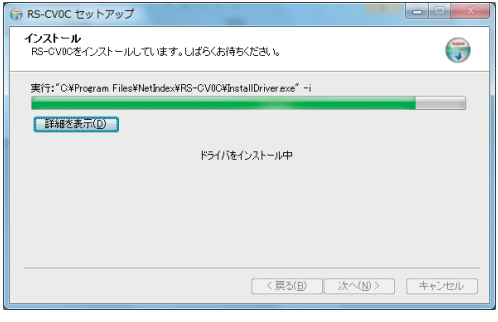


•「インストール先を選んでください。」の画面が表示されます。

7 インストール先フォルダを指定し、「インストール」をクリックする



●「インストール」をクリックすると、インストールが始まります。



8 次の画面が表示されたら「完了」をクリックする

●「完了」をクリックするとパソコンが再起動します。

お願い

●パソコンを再起動しないとインストールが完了しません。
必ず再起動してください。

インストーラーが自動的に起動しない場合

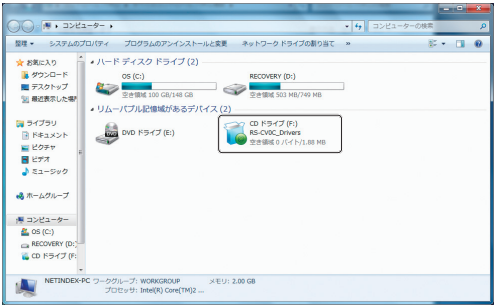
ご利用PCの環境によってはインストールが自動的に開始されないことがあります。その場合は、下記の手順にてインストールしてください。

お願い

- Windowsパソコンの電源を入れ、本製品を接続した状態にしてください。

❶「スタート」メニューから「コンピューター」をクリックする

❷「RS-CV0C_Drivers」をダブルクリックする



❸「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「許可」をクリックする

- 「RS-CV0Cセットアップウイザードへようこそ」の画面が表示されます。
- 45〜47ページの手順❺〜❽にしたがって操作してください。

インターネットに接続する

本製品のお買い上げ時には3G接続モードが「自動」に設定されています。
3G接続モードの設定を変更する場合は「3G接続設定」(☞86ページ)を参照してください。
インターネットへ接続するには、ご契約のプロバイダより入手した接続先(APN)、ユーザー名、パスワード等の設定を確認してください。設定を変更した場合、「適用」ボタンをクリックして保存します。

■自動モードで接続する

1 本製品の電源/コネクトボタンを3秒以上押して電源を入れる

- ネットワークランプが緑点滅となり自動的に接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

■手動モードで接続する(電源/コネクトボタンを使って接続する)

1 本製品の電源/コネクトボタンを1秒以内で押す

- ネットワークランプが緑点滅となり接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

■ホーム画面の接続ボタンで使って接続する

1 本製品のホーム画面を表示し、「接続」ボタンを押す

- ネットワークランプが緑点滅となり接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

microSDカードを使用する

本製品にmicroSDカードを取り付けると、USBケーブルで接続したパソコンから本製品をUSBメモリとして使用することができます。（無線LAN機器からはご使用になれません。）

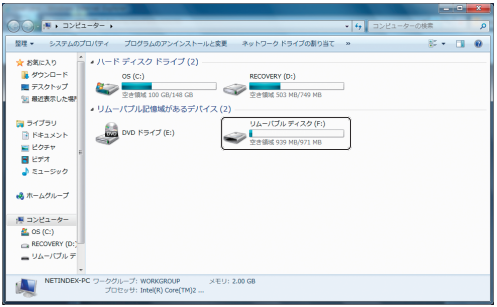
- 本製品では、メモリ容量が最大16 GBのmicroSDカードに対応していますが、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードを使用する場合は、取り付け方法にしたがって本製品に取り付けてください。（☞「microSDの取り付け方」28ページ）

1 本製品に、microSDカードを取り付ける

2 「スタート」メニューから「コンピューター」をクリックする

3 「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

- 本製品に取り付けたmicroSDカードにアクセスできます。



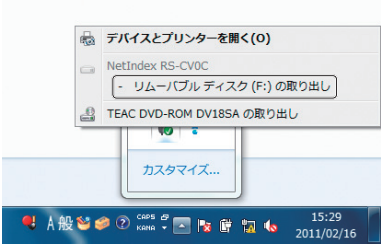
Windowsパソコンから本製品を取り外す

「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」機能でデバイスの動作を停止させてから、本製品をパソコンから取り外します。
本製品にmicroSDカードを取り付けた場合に、必要な手順です。

お願い

- データ通信中は、本製品を取り外さないでください。

1. タスクトレイの をクリックする
2. 「リムーバブルディスクの取り出し」をクリックする



3. 本製品が安全に取り外し可能なことが表示されたら、パソコンからUSBケーブルを取り外す
4. 本製品から、USBケーブルを取り外す

RS-CV0C ドライバをアンインストールする

画面表示や手順はWindows 7を例としています。

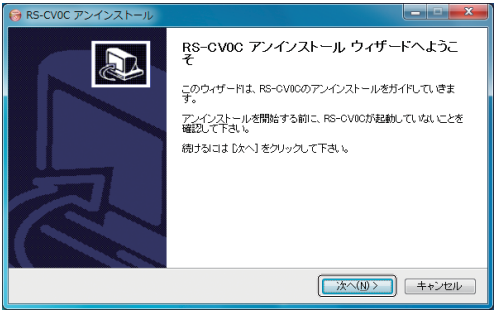
1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択する

- 「プログラムのアンインストール」（表示方法：カテゴリ）または「プログラムと機能」（表示方法：アイコン）を選択します。

2 「RS-CV0C」を選択して、「アンインストールと変更」をクリックする

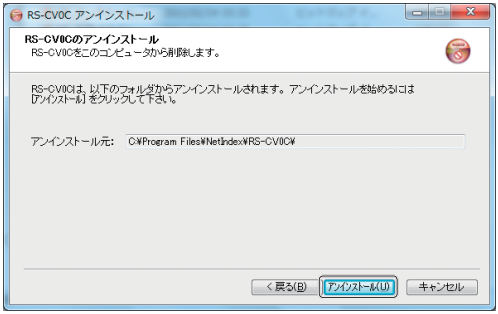
3 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「許可」をクリックする

- 「RS-CV0Cアンインストールウイザードへようこそ」の画面が表示されます。

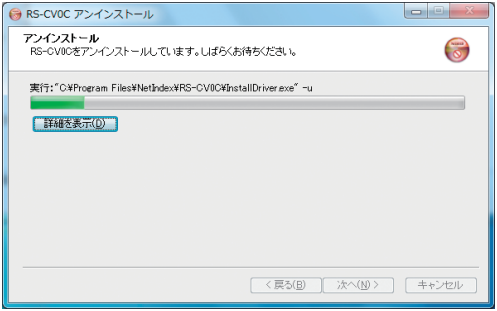


4 「次へ」をクリックする

❺「アンインストール」をクリックして実行する



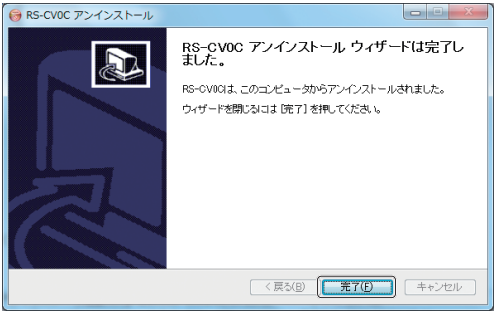
- 「アンインストール」をクリックすると、アンインストールが始まります。



- アンインストール完了後、「RS-CV0Cアンインストールウィザードは完了しました。」の画面が表示されます。

❻「完了」をクリックする

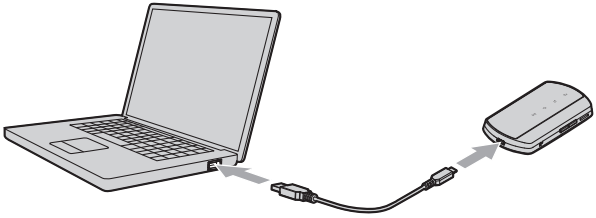
- アンインストールが完了します。



MacにUSBケーブルで接続する

Macに本製品を接続する

1. USIMカードを取り付けた本製品のUSBコネクタにUSBケーブルを接続する
2. USBケーブルのもう一方のコネクタをMacのUSBポートに接続する



- Macが本製品を認識します。
  本製品の電源がオン状態の場合、Macが本製品を認識するまで約3秒かかります。
  本製品の電源がオフ状態の場合、約25秒で電源/コネクトボタンが有効となります。このあと電源/コネクトボタンを3秒以上押してからMacが本製品を認識するまで約6秒かかります。
- 「RS-CV0C_Drivers」フォルダが自動的に表示されると、本製品の接続完了となります。
- 本製品を初めて接続したときは、このあとRS-CV0Cドライバのインストールを行います。下記の「RS-CV0Cドライバをインストールする」を参照してください。

RS-CV0Cドライバをインストールする

画面表示や手順はMac OS X 10.6を例としています。

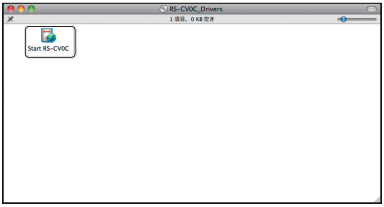
お願い

- インストール中に本製品を取り外さないでください。
  インストールが正常に行われない、システムがダウンするなどの異常を起こすおそれがあります。

1. Macの電源を入れ、OSを起動する

❷ 本製品をMacに接続する

- デスクトップにショートカットアイコンが表示され「RS-CV0C_Drivers」フォルダが自動的に開きます。



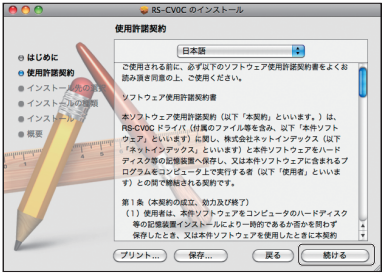
❸「Start RS-CV0C」をダブルクリックする

- インストール画面が表示されます。

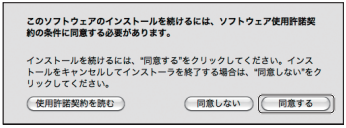
❹「続ける」をクリックする

- 「使用許諾契約」の画面が表示されます。

❺「続ける」をクリックする



❻「使用許諾契約」に同意する場合は、「同意する」をクリックする

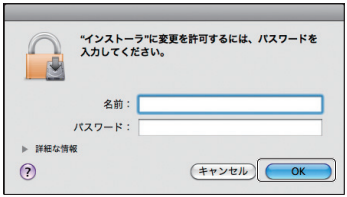


- 「Macintosh HD®に標準インストール」の画面が表示されます。
  ※「Macintosh HD」はお使いになっているハードディスクの名称です。
  お客様によって、表示される名称は異なります。

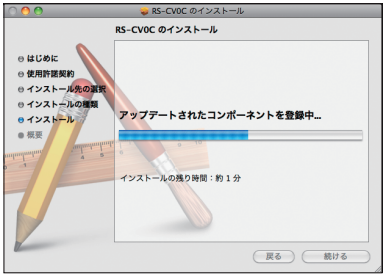
❼「インストール」をクリックする

- 認証画面が表示されます。

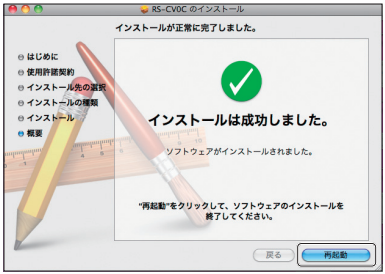
8 お使いになっているMacの名前（ユーザ名）とパスワードを入力して、「OK」をクリックする



- インストール終了時に関する確認メッセージが表示されます。
「インストールを続ける」をクリックすると、インストールが始まります。



9 次の画面が表示されたら、「再起動」をクリックする



- Macが再起動したら、インストールが完了です。
続けて、「ネットワークインターフェースを構成する」に進んでください。

ネットワークインターフェースを構成する

本製品をMacで使用するためにネットワークインターフェースの構成を行います。

❶ 本製品をMacに接続する

- デスクトップにショートカットアイコンが表示され「RS-CV0C_Drivers」フォルダが自動的に開きます。

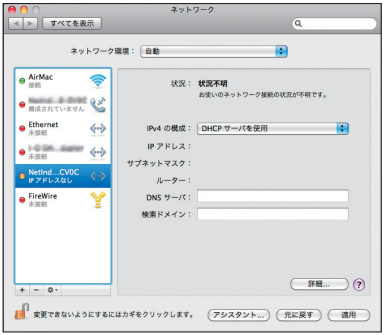
❷ 「Start RS-CV0C」をダブルクリックする

- 「RS-CV0C_SwitchTool」が起動して本製品をネットワークインターフェースに切り替えます。

❸ 「OK」をクリックする

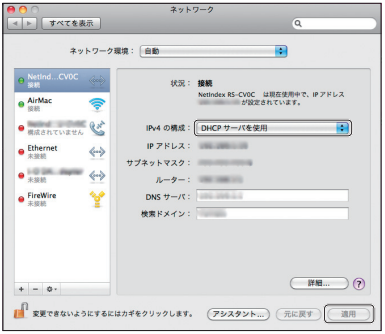
- 「新しいネットワークインターフェースが検出されました。」の画面が表示されます。

❹ 「"ネットワーク"環境設定…」をクリックする



- 「システム環境設定」の「ネットワーク」画面が表示されます。

5 「DHCPサーバを使用」が選択されていることを確認して、「適用」をクリックする



- 本製品がネットワークインターフェースとして認識され、IPアドレスが割り当てられることを確認してください。

インターネットに接続する

本製品のお買い上げ時には3G接続モードが「自動」に設定されています。
3G接続モードの設定を変更する場合は「3G接続設定」(☞86ページ)を参照してください。
インターネットへ接続するには、ご契約のプロバイダより入手した接続先(APN)、ユーザー名、パスワード等の設定を確認してください。設定を変更した場合、「適用」ボタンをクリックして保存します。

■自動モードで接続する

1 本製品の電源/コネクトボタンを3秒以上押して電源を入れる

- ネットワークランプが緑点滅となり自動的に接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

■手動モードで接続する(電源/コネクトボタンで使って接続する)

1 本製品の電源/コネクトボタンを1秒以内で押す

- ネットワークランプが緑点滅となり接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

■ホーム画面の接続ボタンを使って接続する

1 本製品のホーム画面を表示し、「接続」ボタンを押す

- ネットワークランプが緑点滅となり接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

microSDカードを使用する

本製品にmicroSDカードを取り付けると、USBケーブルで接続したMacから本製品をUSBメモリとして使用することができます。（無線LAN機器からはご使用になれません。）

- 本製品では、メモリ容量が最大16 GBのmicroSDカードに対応していますが、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードを使用する場合は、取り付け方法にしたがって本製品に取り付けてください。（☞「microSDの取り付け方」28ページ）

1 本製品に、microSDカードを取り付ける

2 デスクトップに表示されたショートカットアイコンを選択して、「ファイル」メニューから「開く」をクリックする

- 本製品に取り付けたmicroSDカードにアクセスできます。

Macから本製品を取り出す

「ディスクを取り出す」機能でデバイスの動作を停止させてから、本製品をMacから取り外します。
本製品にmicroSDカードを取り付けた場合に、必要な手順です。

お 願 い

- データ通信中は、本製品を取り外さないでください。

1 デスクトップに表示されたショートカットアイコンを選択して、「ファイル」メニューから「取り出す」をクリックする

2 ショートカットアイコンの表示が消えたら、パソコンからUSBケーブルを取り外す

3 本製品から、USBケーブルを取り外す

RS-CV0C ドライバをアンインストールする

画面表示や手順はMac OS X 10.6を例としています。

お願い

- アンインストールを行う場合は、必ず本製品をMacから取り外してから行ってください。

1 メニューバーの「Finder」を選択する

2 場所「アプリケーション」を選択する

3 「Uninstall RS-CV0C」をダブルクリックする

- 「Uninstall」画面が表示されます。

4 「アンインストール」をクリックする

- 認証画面が表示されます。

5 お使いになっているMacの名前（ユーザ名）とパスワードを入力して、「OK」をクリックする

- 「アンインストール完了確認」画面が表示されます。

6 「はい」をクリックして再起動する

4 基本設定

ホーム画面を表示する…… 66
基本設定を行う…… 68
管理者パスワードの変更…… 68
無線LANネットワーク名(SSID)の設定 …… 69
無線LANセキュリティ設定 …… 69
WPS機能 …… 72
基本設定の完了…… 73

ホーム画面を表示する

ホーム画面から本製品の基本設定を行います。

1 Webブラウザを起動する

2 URLを入力する欄に「http://192.168.1.1/」と入力し、「Enter」を押す

- ログイン画面が表示され、管理者ログインを促すポップアップが表示されます。

- ポップアップの をクリックします。

3 管理者ログインのパスワードを入力する欄にパスワードを入力する

- お買い上げ時の初期パスワードは「password」に設定されています。
- 半角英数字の小文字で入力してください。

お願い

● セキュリティの保護のため、必ず初期パスワードを変更してください。

4 管理者ログインの「OK」をクリックする

- ホーム画面が表示され、本製品の状態を確認することができます。
- 上部にあるメニューアイコンから各種設定を行います。

〔ホーム画面とメニュー〕

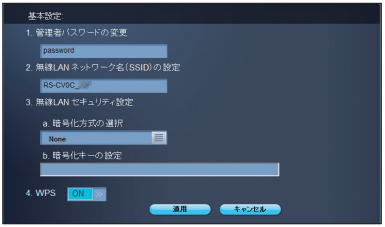
ホーム画面	3Gのアンテナレベルと接続状況、接続ユーザー数、電池などの本製品の状態を確認することができます。
基本設定	「詳細設定」メニューで設定する内容のうち、セキュリティに必要な最小限の項目のみを設定できます。
詳細設定	無線LAN機能、セキュリティ機能およびインターネット接続機能などの全機能を設定できます。
ユーザーマニュアル	本製品の取扱説明書を収録しています。pdfファイル形式でダウンロードすることができます。

基本設定を行う

基本設定では、「詳細設定」メニューで設定する内容のうち、セキュリティに必要な最小限の項目のみを設定できます。

1 ホーム画面の「基本設定」アイコンをクリックする

- 「基本設定」画面が表示されます。



管理者パスワードの変更

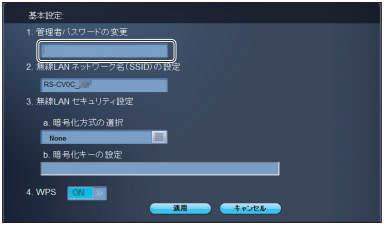
ホーム画面にアクセスするための、管理者用パスワードを設定します。

お願い

- パスワードには初期値「password」が設定されていますので、セキュリティ保護のため必ず変更してください。
- パスワードは、本製品の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。本製品への不正なアクセスを防ぐため、大切に管理・運用してください。

管理者パスワードを入力する欄に新しく設定するパスワードを入力してください。

- パスワードは、1〜20文字までの半角英数記号が使用可能です。

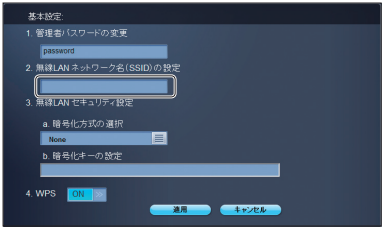


- 続けて、「無線LANネットワーク名(SSID)の設定」に進んでください。

無線LANネットワーク名(SSID)の設定

無線グループを識別するためのSSIDを設定します。
SSIDを入力する欄に任意の名前を入力してください。

- SSIDは、1〜32文字までの半角英数字と記号(_)(-)が使用可能です。



- 続けて、「無線LANセキュリティ設定」に進んでください。

無線LANセキュリティ設定

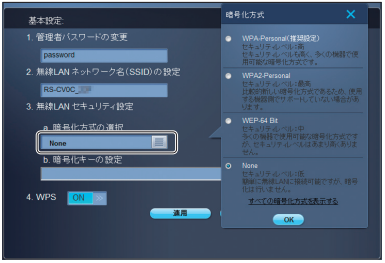
無線LANにアクセスするために必要となるセキュリティ設定を行います。
通信内容の傍受や本製品への不正なアクセスを防ぐため、必ず暗号化設定を行ってください。初期値では暗号化機能が無効になっています。

お願い

- WEPや強固な無線セキュリティWPA/WPA2などの暗号化方式を設定できます。WEP方式は短時間で暗号解読され、通信内容を第三者に傍受される危険性があるため、通信の安全性を高めるには、WPA/WPA2の設定をお勧めします。
  WPA/WPA2を利用するには、無線LAN接続端末側でも同様の設定を行ってください。無線LAN機器に付属の説明書をご覧ください。

暗号化方式リストボタンをクリックして暗号化方式を選びます。

- 暗号化方式の基本的な分類から選択することができます。



WPA-Personal（推奨設定）	セキュリティレベル：高 セキュリティレベルも高く、多くの無線LAN機器で使用可能な暗号化方式です。
WPA2-Personal	セキュリティレベル：最高 WPA-Personalよりセキュリティレベルの高い暗号化方式です。 無線LAN機器側でサポートしていない場合があります。
WEP-64 Bit	セキュリティレベル：中 最も一般的な暗号化方式で、多くの無線LAN機器で使用可能な暗号化方式です。 **お願い** ●WEP方式は短時間で暗号解読され、通信内容を第三者に傍受される危険性があるため、通信の安全性を高めるにはWPA/WPA2の設定をお勧めします。
None（初期値）	暗号化機能は無効になります。

暗号化方式の詳細な分類から選択を行う場合は、「すべての暗号化方式を表示する」をクリックしてください。

WEP	• 暗号化キーの長さおよび認証方式を選択します。 長さ　：「64 bit」または「128 bit」 認証方式：「Open（オープンシステム認証）」または「Shared（共有キー認証）」 • 暗号化キーの入力形式を選択します。 入力形式：「HEX」または「ASCII」 • キーの長さおよび入力形式に合った、任意の文字列を入力します。
WPA-Personal	無線LAN機器が対応している暗号化タイプに合わせて選んでください。 • 暗号化方式を選択します。 TKIP　：TKIP暗号を採用します。 TKIP/AES：ネットワークにTKIP暗号とAES暗号が混在している場合でも通信できるようになります。 • ASCIIキャラクタの任意の文字列を、8～63文字の間で入力します。

キー長	HEX（16進）	ASCII
64 bit	10桁	5文字
128 bit	26桁	13文字

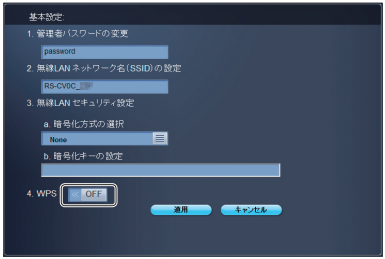
WPA2-Personal	無線LAN機器が対応している暗号化タイプに合わせて選んでください。 • 暗号化方式を選択します。 AES　：AES暗号を採用します。 TKIP/AES：ネットワークにTKIP暗号とAES暗号が混在している場合でも通信できるようになります。 • ASCIIキャラクタの任意の文字列を、8〜63文字の間で入力します。
WPA/WPA2-Personal	ネットワークにWPA方式とWPA2方式が混在している場合でも通信できるようになります。 • ASCIIキャラクタの任意の文字列を、8〜63文字の間で入力します。

• 続けて、「WPS機能」に進んでください。

WPS機能

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能によって、無線LAN機器と接続設定するとき、セキュリティ設定を自動で行うことができます。ただし無線LAN機器もこの機能に対応している必要があります。

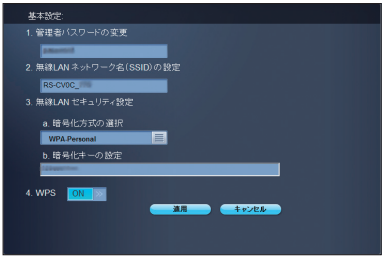
• お買い上げ時にはWPS機能は「有効」に設定されています。
• WPS機能を「無効」にする場合は、「ON」ボタンをクリックしてください。
• ボタンがスライドして「OFF」ボタンに切り替わります。



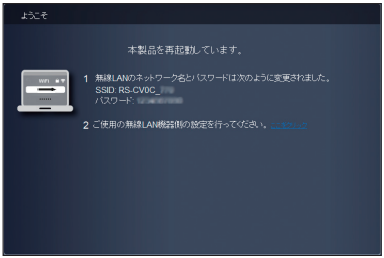
• WPS機能を使用して無線LAN機器と接続を行う場合は、「無線LAN機器をネットワークに接続する」を参照してください。

基本設定の完了

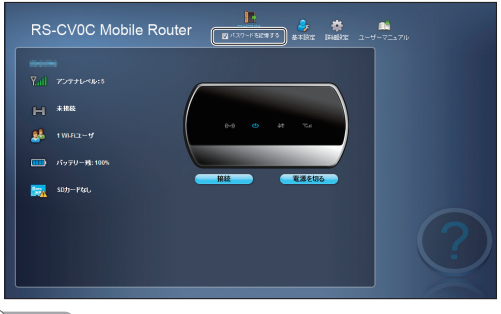
本製品の基本設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックします。



- 「ようこそ」画面を表示して、本製品の設定を適用します。



- 接続する無線LAN機器側の設定を行ってください。
- 「ここをクリック」をクリックするとログイン画面に戻ります。
- 「管理者パスワードの変更」で設定した管理者パスワードでログインしてください。
- 「パスワードを記憶する」にチェックを付けると、次回ログイン時からパスワードの入力を省略することができます。



お知らせ

- 続けて詳細設定を行うには、ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックしてください。

5 詳細表示

詳細設定…… 76
無線LAN…… 77
無線LAN設定：基本設定 …… 78
無線LAN設定：拡張設定 …… 79
セキュリティ設定…… 80
MACフィルタリング …… 83
WPS設定 …… 85
3G設定 …… 86
3G接続設定 …… 86
PIN設定 …… 91
ルーター設定…… 98
LAN設定…… 98
静的DHCP ……100
IPフィルタリング……102
URLフィルタリング……103
デバイスリスト……105
NAT設定……106
アプリケーション……106
システム設定……107
基本設定……107
パスワード設定……108
言語設定……109
パワーセービングモード（スリープモード）
……110
システムログ……110
設定データ……111
設定内容の初期化（リセット）……112
設定内容の保存・読み込み……112

詳細設定

ホーム画面の「詳細設定」をクリックすると、「詳細設定」メニューが表示されます。このメニューを使って、本製品の各種設定や状態の確認・変更を行うことができます。

メニュー項目	設定内容
無線LAN	本製品の無線LAN機能を設定します。 • 無線LAN設定、セキュリティ設定、MACフィルタリング、WPS
3G	本製品のインターネット接続設定を行います。 • 3G接続設定、PIN設定
ルーター	本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報、DHCPサーバに関する設定、フィルタリング機能の設定を行います。 • LAN設定、静的DHCP、IPフィルタリング、URLフィルタリング、デバイスリスト
NAT	本製品のNAT（ネットワークアドレス変換）機能を設定します。この機能を使って、外部の侵入者からLANを保護することができます。
システム	本製品のシステム情報の設定を行います。 • 基本設定、システムログ、設定データ

無線LAN

本製品の無線LAN機能の設定を行います。
用途に合わせて、使用帯域やセキュリティの設定を行ってください。

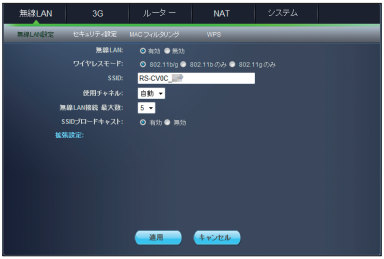
1 ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「無線LAN」をクリックする

2 無線LAN設定画面の上部にあるメニューから、設定したい項目をクリックする

- 無線LAN設定
- セキュリティ設定
- MACフィルタリング
- WPS

無線LAN設定：基本設定

1. ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「無線LAN」をクリックする
2. 「無線LAN設定」をクリックする
3. 以下の項目を設定する



無線LAN	無線LANの有効、無効を設定します。（初期値：有効） USB接続でのみ本製品を使用する場合は、無線LANを無効に設定してください。 無線LANを無効にすると、無線LAN経由での接続ができなくなります。
ワイヤレスモード	使用する帯域を選びます。 **802.11b/g**（初期値）： IEEE802.11b/gの規格を使用します。 **802.11bのみ**：IEEE802.11bの規格だけを使用します。 **802.11gのみ**：IEEE802.11gの規格だけを使用します。
SSID	無線グループを識別するためのSSIDを設定します。 （初期値：RS-CV0C_XXX） XXX：MACアドレスの下3桁。 • 半角英数字と記号（_）（-）で、32文字までの任意の名前を入力してください。

使用チャネル	無線で使用するチャネルをプルダウンメニューから選びます。 1〜13までが使用可能なチャネルです。 （初期値：自動） **自動** ：空きチャネルから、最適なチャネルを自動的に設定します。 **1〜13** ：設定したチャネルが使われます。
無線LAN接続最大数	無線LANで接続する機器の最大数を設定します。1〜5までが設定可能な最大数です。（初期値：5） 直接USBケーブルで使用している機器は、この数には含まれません。
SSIDブロードキャスト	初期値は「有効」です。「無効」を選ぶと、無線LAN機器から本製品のSSIDが検索されないようになります。

4 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックする

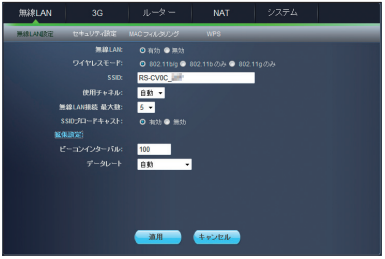
- 接続する無線LAN機器側の設定を行ってください。

無線LAN設定：拡張設定

「拡張設定」では無線LAN機能の高度な設定を行います。通常は初期値から変更する必要はありません。

1 ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「無線LAN」をクリックする

2 「無線LAN設定」をクリックし、「拡張設定」をクリックする



ビーコンインターバル	本製品が発信する、アクセスポイント情報の入ったショートパケット（ビーコン）の送信間隔を設定します。（初期値：100）
データレート	IEEE802.11b/gの送信速度（1M～54M）を、プルダウンメニューから選びます。（初期値：自動） 「自動」を選ぶと、通信環境にあった送信速度が自動的に設定されます。

3 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックする

- 接続する無線LAN機器側の設定を行ってください。

セキュリティ設定

無線LANにアクセスするために必要となるセキュリティ設定を行います。
通信内容の傍受や本製品への不正なアクセスを防ぐため、必ず暗号化設定を行ってください。初期値では暗号化機能が無効になっています。

お願い

- WEPや強固な無線セキュリティWPA/WPA2などの暗号化方式を設定できます。WEP方式は短時間で暗号解読され、通信内容を第三者に傍受される危険性があるため、通信の安全性を高めるには、WPA/WPA2の設定をお勧めします。
  WPA/WPA2を利用するには、無線LAN接続端末側でも同様の設定を行ってください。無線LAN機器に付属の説明書をご覧ください。

❶ ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「無線LAN」をクリックする

❷ 「セキュリティ設定」をクリックする

❸ 暗号化方式リストボタンをクリックして暗号化方式を選ぶ

WEP	• 暗号化キーの長さおよび認証方式を選択します。 長さ　：「64 bit」または「128 bit」 認証方式：「Open（オープンシステム認証）」または「Shared（共有キー認証）」 • 暗号化キーの入力形式を選択します。 入力形式：「HEX」または「ASCII」 • キーの長さおよび入力形式に合った、任意の文字列を入力します。
WPA-Personal	無線LAN機器が対応している暗号化タイプに合わせて選んでください。 • 暗号化方式を選択します。 TKIP　：TKIP暗号を採用します。 TKIP/AES：ネットワークにTKIP暗号とAES暗号が混在している場合でも通信できるようになります。 • ASCIIキャラクタの任意の文字列を、8〜63文字の間で入力します。

キー長	HEX（16進）	ASCII
64 bit	10桁	5文字
128 bit	26桁	13文字

WPA2-Personal	無線LAN機器が対応している暗号化タイプに合わせて選んでください。 • 暗号化方式を選択します。 AES　　：AES暗号を採用します。 TKIP/AES：ネットワークにTKIP暗号とAES暗号が混在している場合でも通信できるようになります。 • ASCIIキャラクタの任意の文字列を、8〜63文字の間で入力します。
WPA/WPA2-Personal	ネットワークにWPA方式とWPA2方式が混在している場合でも通信できるようになります。 • ASCIIキャラクタの任意の文字列を、8〜63文字の間で入力します。
None（初期値）	暗号化機能は無効になります。

❹ 手順❸で選んだ暗号化方式を設定する

■「WEP 64 Bit - Shared」を選んだ場合

❺ 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックする

• 接続する無線LAN機器側の設定を行ってください。

MACフィルタリング

無線LAN機器のMACアドレスを登録して（最大10件）、登録のない無線LAN機器からの接続を制御することができます。登録されたMACアドレスを持つ端末だけが、接続許可されます。

❶ ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「無線LAN」をクリックする

❷ 「MACフィルタリング」をクリックする

❸ MACフィルタリング機能を選択する

- 無効：機能を無効にします。
- 許可：リストにある機器からのアクセスのみ許可します。
- 拒否：リストにある機器からのアクセスを拒否します。

❹ MACアドレスを入力し、登録する機器の名前を入力する

- 半角英数字と記号（-）で、1〜15文字までの任意の名前を入力してください。

❺ 「追加」をクリックする

- 「MACフィルタリスト」に登録されます。
- 続けてMACアドレスを登録するには、手順❹から繰り返してください。

6 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックする

削除	削除する機器を選択して、「削除」をクリックすると、対象のMACアドレスをリストから削除します。
OK	「OK」をクリックすると、変更した入力内容を有効にします。
キャンセル	「キャンセル」をクリックすると、変更した入力内容を無効にします。

- 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックします。

WPS設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能によって、無線LAN機器と接続設定するとき、セキュリティ設定を自動で行うことができます。ただし無線LAN機器もこの機能に対応している必要があります。

1 ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「無線LAN」をクリックする

2 「WPS」をクリックする

3 WPS機能を使うには、「WPS設定」の「WPS：有効」を選択する

- WPS機能を使わない場合は、「WPS：無効」を選択します。
- 設定方法の詳細は「2 無線LANで接続する」の「無線LAN機器側のWPSボタンを使って接続する」以降を参照してください。

3G設定

ホーム画面の「詳細設定」アイコンから「3G」をクリックすると「3G接続設定」メニューが表示されます。
このメニューを使って、インターネット接続設定（WAN側設定）を行います。

3G接続設定

本製品のインターネット接続に必要な情報を設定します。

■新規プロファイルを登録する場合

1 ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

2 「3G接続設定」をクリックして「3G接続設定」画面を表示する

❸「新規」をクリックする

- 「新規プロファイル」画面が表示されます。

- 接続先プロファイルは最大10件まで登録することができます。

プロファイル名	新しく登録する接続先プロファイル名を入力します。 • 半角英数記号で30文字まで設定可能です。 日本語を含む場合は8文字までとなります。
ユーザー名	ご契約のプロバイダから指定されたユーザー名を入力します。 • 半角英数記号で30文字まで設定可能です。
パスワード	ご契約のプロバイダから指定されたパスワードを入力します。 • 半角英数記号で30文字まで設定可能です。
APN（接続先）	ご契約のプロバイダから指定されたAPN（接続先）を入力します。 • 半角英数記号で30文字まで設定可能です。
認証方式	ご契約のプロバイダから指定された認証方式を選択します。（初期値：CHAP）
デフォルト設定	本製品のデフォルト設定として使用する場合にチェックします。

お願い

- ご契約のプロバイダから指定された接続先プロファイルがすでに登録されている場合は、次項の「プロファイルを編集する場合」を参照して設定内容を確認してください。

4 「保存」をクリックする

- 「接続先プロファイル」の一覧に登録したプロファイルが表示されます。

5 「適用」をクリックする

■プロファイルを編集する場合

1 ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

2 「3G接続設定」をクリックして「3G接続設定」画面を表示する

3 「接続先プロファイル」の一覧から編集したいプロファイルを選択する

- 「プロファイル編集」画面が表示されます。

4 「編集」をクリックする

- プロファイル情報を編集することができます。

4 「保存」をクリックする

- 「接続先プロファイル」の一覧に編集したプロファイルが表示されます。

5 「適用」をクリックする

■プロファイルを削除する場合

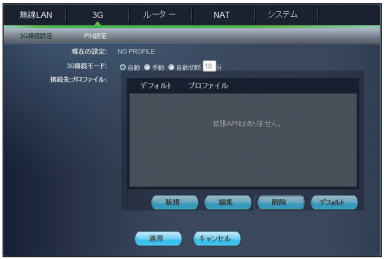
1 ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

2 「3G接続設定」をクリックして「3G接続設定」画面を表示する

3 「接続先プロファイル」の一覧から削除したいプロファイルを選択する

4 「削除」をクリックする

- 選択されたプロファイルが削除されて一覧が更新されます。



お願い

- デフォルトに設定されているプロファイルを削除することはできません。削除する場合はデフォルト設定を他のプロファイルに指定してから行ってください。

5 「適用」をクリックする

■デフォルト設定を変更する場合

1 ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

2 「3G接続設定」をクリックして「3G接続設定」画面を表示する

3 「接続先プロファイル」の一覧からデフォルトに指定するプロファイルを選択する

4 「デフォルト」をクリックする

- 選択されたプロファイルにデフォルトのチェックが表示されて一覧が更新されます。

5 「適用」をクリックする

PIN設定

USIMカードには「PINコード」という暗証番号があります。
この暗証番号により、ユーザー固有データと第3者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。
お買い上げ時、PINコードは無効になっています。PINコードを有効にすることで、紛失、または盗難にあった際、不正に使用されることを防ぐことができます。
PINコードの初期値についてはご契約のプロバイダにお問合せください。

お願い

- 設定したPINコードは、メモを取るなどして忘れないようにご注意ください。
- PINコードを有効に設定した上で、PINコードをお忘れになった場合、PINコードを解除するためのPUKコードが必要になります。PUKコードについてはご契約のプロバイダへお問い合せください。

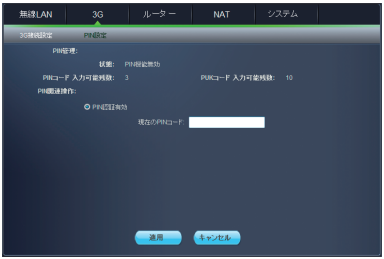
■PINコードを有効に設定する

1 ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

2 「PIN設定」をクリックして「PIN設定」画面を表示する

3 「PIN関連操作」から「PIN認証有効」をチェックする

- 現在のPINコードを入力します。



4 「適用」をクリックする

- 「状態」が「PINロック認証」になることを確認します。

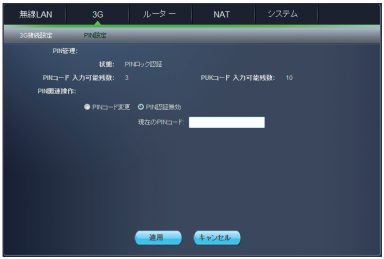
■PINコードを無効に設定する

1 ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

2 「PIN設定」をクリックして「PIN設定」画面を表示する

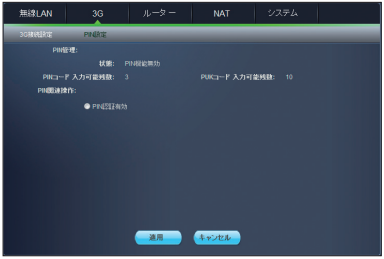
3 「PIN関連操作」から「PIN認証無効」をチェックする

- 「現在のPINコード」を入力します。



4 「適用」をクリックする

- 「状態」が「PIN機能無効」になることを確認します。



■PINコードを変更する

お知らせ

●「PINコードの変更」はPINコードが有効に設定されているときのみ、選択することができます。

1 ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

2 「PIN設定」をクリックして「PIN設定」画面を表示する

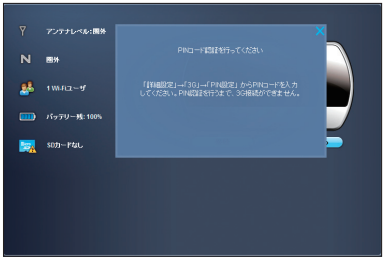
3 「PIN関連操作」から「PINコード変更」をチェックする

- 「現在のPINコード」を入力します。
- 「新しいPINコード」、「新しいPINコードの確認」を4～8桁の範囲で入力します。

4 「適用」をクリックする

■PINコードを解除する（PINコード入力）

PINコードが有効の状態で本製品のホーム画面にログインすると、「PINコード認証を行ってください。」メッセージが表示されます。

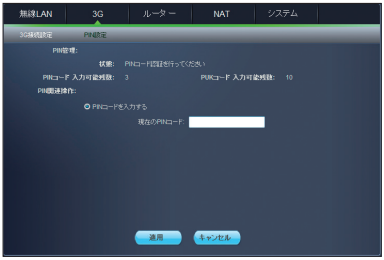


❶ ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

❷ 「PIN設定」をクリックして「PIN設定」画面を表示する

❸ 「PIN関連操作」から「PINコードを入力する」をクリックする

- 「現在のPINコード」を入力します。



❹ 「適用」をクリックする

- 「3G接続設定」をクリックして接続先プロファイルが有効になっていることを確認してください。

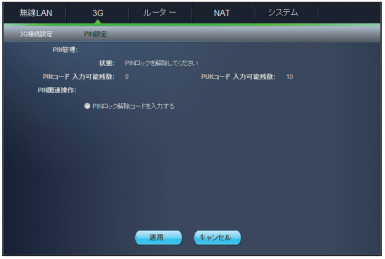
■PINコードを解除する（PUKコード入力）

PINコードが有効の状態で、PINコードの入力を3回連続で間違えると、設定していたPINコードが無効となり、すべての機能がロックされてPINロック状態となります。

❶ ホーム画面の「詳細設定」アイコンをクリックして「3G」をクリックする

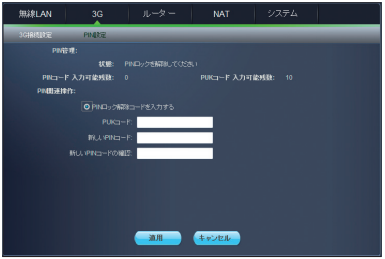
❷ 「PIN設定」をクリックして「PIN設定」画面を表示する

- 「PIN管理」の「状態」が「PINロックを解除してください」表示となります。



❸ 「PIN関連操作」から「PINロック解除コードを入力する」をクリックする

- 「PUKコード」を入力します。
- 「新しいPINコード」を4～8桁の範囲で入力します。
- 「新しいPINコードの確認」を4～8桁の範囲で入力します。



4 「適用」をクリックする

- 新しいPINコードが有効になります。

お願い

- PUKコードの入力を10回連続で間違えると、PUKコードが無効となり、PUKロック状態となります。
- PUKロック状態となった場合はご契約のプロバイダにお問合せください。

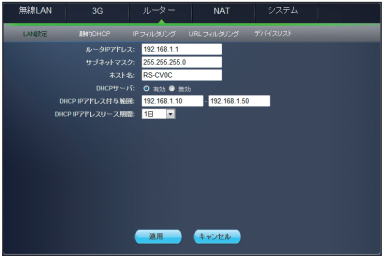
ルーター設定

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側の各種設定を行います。

1 **ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「ルーター」をクリックする**

2 **ルーター設定画面の上部にあるメニューから、設定したい項目をクリックする**

- LAN設定
- 静的DHCP
- IPフィルタリング
- URLフィルタリング
- デバイスリスト



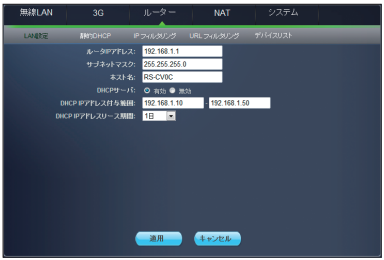
LAN設定

設定メニューを使って、本製品のLAN側のIPアドレスおよびDHCP機能の設定を行います。

1 **ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「ルーター」をクリックする**

2 **「LAN設定」をクリックする**

3 以下の項目を設定する



ルータIPアドレス	本製品のLAN側IPアドレスを入力します。 • お買い上げ時は「192.168.1.1」に設定されています。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを入力します。 • お買い上げ時は「255.255.255.0」に設定されています。
ホスト名	本製品のホスト名を入力します。 • お買い上げ時は「RS-CV0C」に設定されています。
DHCPサーバ	DHCPサーバ機能を使って、IPアドレスを自動で割り当てる場合は、「有効」(初期値)を選びます。 DHCPサーバ機能を使わず、IPアドレスを固定にする場合は、「無効」を選びます。
DHCP IPアドレス付与範囲	DHCPサーバが自動的に割り当てるIPアドレスの範囲を指定します。 •「DHCPサーバ：有効」の場合に設定できます。 • 本製品と同じIPアドレスやサブネットマスクのIPアドレスは、選ばないようにしてください。
DHCP IPアドレスリース期間	DHCPサーバ機能により割り当てられるIPアドレスの保有期間を、プルダウンメニューから選びます。 • 30分、1時間、2時間、12時間、1日、2日、1週間、2週間 • 設定期間を過ぎると、再度IPアドレスが割り当てられます。

4 設定変更後に、「適用」をクリックする

• 設定内容が反映されます。

静的DHCP

LAN内の特定のMACアドレスに対して、任意のIPアドレスを割り当てます。
- 最大10件まで登録可能です。

❶ ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「ルーター」をクリックする

❷ 「静的DHCP」をクリックする

❸ IPアドレスの割り当て設定をする

ホスト名	IPアドレスを割り当てる機器のホスト名を入力します。
MACアドレス	IPアドレスを割り当てる機器のMACアドレスを入力します。
IPアドレス	割り当てるIPアドレスを入力します。 • 入力可能な範囲は、「LAN設定」の「DHCP IPアドレス付与範囲」で設定した範囲です。
状態	IPアドレスの割り当てを有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れます。 無効にする場合は、チェックを外します。

❹ 「追加」をクリックする
- リストに設定内容が登録されます。
- 続けて登録するには、手順❸から繰り返してください。

❺ 設定を終わるには、「適用」をクリックする
- 設定内容が反映されます。

■登録内容の変更と削除

メニュー項目	設定内容
削除	削除する機器を選択して、「削除」をクリックすると、対象のMACアドレスをリストから削除します。
OK	「OK」をクリックすると、変更した入力内容を有効にします。
キャンセル	「キャンセル」をクリックすると、変更した入力内容を無効にします。

- 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックします。

IPフィルタリング

最大10件までの無線LAN機器のIPアドレスが登録できます。

❶ ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「ルーター」をクリックする

❷ 「IPフィルタリング」をクリックする

❸ IPフィルタリング機能を選択する

- 無効：機能を無効にします。
- 拒否：リストにあるIPアドレスからのサービスを拒否します。

❹ 開始IPアドレスと、終端IPアドレスを入力する

- 入力可能な範囲は、「LAN設定」の「DHCP IPアドレス付与範囲」で設定した範囲です。

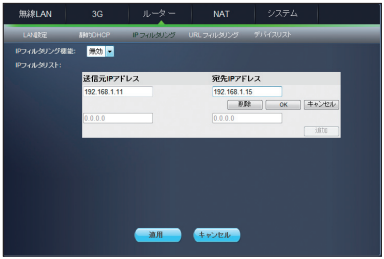
❺ 「追加」をクリックする

- 「IPフィルタリスト」に登録されます。
- 続けてIPアドレスを登録するには、手順❹から繰り返してください。

❻ 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックする

- 設定内容が反映されます。

■登録内容の削除と変更



削除	削除するアドレスを選択して、「削除」をクリックすると、対象のIPアドレスをリストから削除します。
OK	「OK」をクリックすると、変更した入力内容を有効にします。
キャンセル	「キャンセル」をクリックすると、変更した入力内容を無効にします。

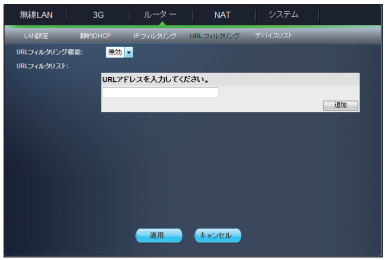
• 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックします。

URLフィルタリング

特定のWebサイトのURLを設定して、アクセス制限することができます。

1 ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「ルーター」をクリックする

2 「URLフィルタリング」をクリックする



❸ **URLフィルタリング機能を選択する**

- 無効：機能を無効にします。
- 有効：リストにあるURLアドレスのみ許可します。

❹ **URLアドレスを入力する**

- 最大10件まで登録可能です。

❺ **「追加」をクリックする**

- 「URLフィルタリスト」に登録されます。
- 続けてURLアドレスを登録するには、手順❹から繰り返してください。

❻ **設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックする**

- 設定内容が反映されます。

■登録内容の変更と削除

削除	削除するURLアドレスを選択して、「削除」をクリックすると、対象のURLアドレスをリストから削除します。
OK	「OK」をクリックすると、変更した入力内容を有効にします。
キャンセル	「キャンセル」をクリックすると、変更した入力内容を無効にします。

- 設定を完了するには、「適用」ボタンをクリックします。

デバイスリスト

本製品に接続している機器の、「ホスト名」「IPアドレス」「MACアドレス」「接続方式」を、一覧で表示します。

NAT設定

NAT（ネットワークアドレス変換）機能を使用して、複数のプライベートIPアドレスを1つのグローバルIPアドレスに変換できるようになります。

アプリケーション

本製品ではUPnP、VPNパススルーといったNAT使用環境で利用される各種プロトコルの設定を行います。

1 ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「NAT」をクリックする

2 リストから、アプリケーションの有効・無効を選択する

UPnP	インターネットメッセンジャーなどを利用するときは「有効」に設定してください。（初期値：無効）
L2TP Pass-Through	L2TPパススルーをサポートしない場合は「無効」に設定してください。（初期値：有効）
PPTP Pass-Through	PPTPパススルーをサポートしない場合は「無効」に設定してください。（初期値：有効）
IPSec Pass-Through	IPSecパススルーをサポートしない場合は「無効」に設定してください。（初期値：有効）

3 有効・無効の選択後に、「適用」をクリックする

- 設定内容が反映されます。

システム設定

ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「システム」をクリックするとシステム設定メニューが表示されます。
このメニューを使って、パスワードの変更や設定のリセットなどのシステム設定を行います。

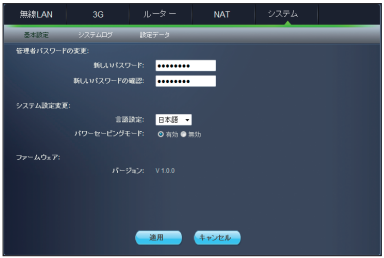
基本設定

管理者パスワードの変更、言語表示設定、パワーセービングモード設定を変更することができます。

1 ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「システム」をクリックする

2 「基本設定」をクリックする

- 「基本設定」画面が表示されます。



パスワード設定

ホーム画面にアクセスするための、管理者用パスワードを設定します。

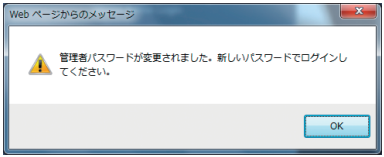
❶「新しいパスワード」を入力する欄に、新しく設定するパスワードを入力する

❷「新しいパスワードの確認」を入力する欄に、再度新しく設定するパスワードを入力する

- パスワードは、1〜20桁の半角英数を入力してください。

❸「適用」をクリックする

❹ 新しいパスワードでのログインを要求されたら、管理者ログイン画面に、手順❶〜❸で設定した「新しいパスワード」を入力して「OK」をクリックする



- ホーム画面が表示されます。

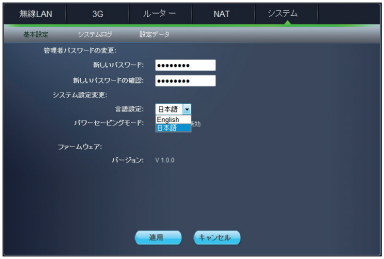
お願い

- 万一、パスワードを忘れた場合は、本製品の初期化を行ってください。
  (☞「リセットボタン」25ページ)
  その場合、すべての設定がお買上げ時の状態に戻りますので、再設定が必要になります。

言語設定

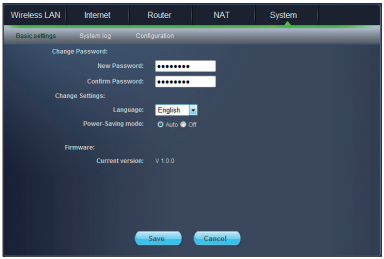
本製品のホーム画面および各種設定画面の表示言語を選択することができます。

❶「言語設定」のプルダウンメニューから、「日本語」または「English」を選択する



❷「適用」をクリックする

- 選択した言語設定に表示が切り替わります。



（画面例：「English」を選択した場合）

パワーセービングモード(スリープモード)

本製品は、省電力で動作させるパワーセービング機能を搭載しています。

- パワーセービングモードを「有効」に設定すると、インターネット通信、WiFi通信およびLAN通信が行われていない場合に自動的にスリープモードに移行します。
- スリープモードに移行すると、すべてのランプが消灯状態となりホーム画面が更新されなくなります。
- スリープモードから通常状態に復帰するには、電源/コネクトボタンを1秒以内で押してください。
- 通常状態に復帰後、ホーム画面を再表示することができます。

1 「パワーセービングモード」の「有効」・「無効」を選択する

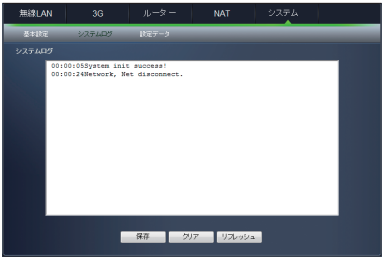
2 「適用」をクリックする

システムログ

システムログを表示させ、テキストファイルとして保存することもできます。

1 ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「システム」をクリックする

2 「システムログ」をクリックする



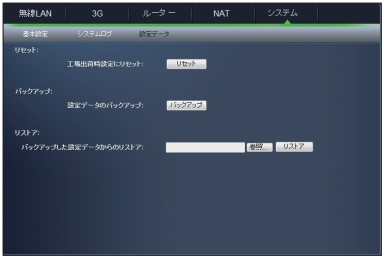
ログ保存	「保存」をクリックし、保存先などを指定してログを保存します。
ログの消去	「クリア」をクリックすると、本製品が保存しているシステムログがすべて消去されます。
ログの更新	「リフレッシュ」をクリックすると、表示中のログを最新の情報に更新します。

設定データ

設定データ画面で、初期化(お買い上げ時の設定に戻す)、設定の保存、設定データのリストアを行うことができます。

1 ホーム画面の「詳細設定」をクリックし、「システム」をクリックする

2 「設定データ」をクリックする



設定内容の初期化(リセット)

本製品の設定内容を初期化することができます。

お願い

- 初期化を行うと、お買い上げ後に変更した内容はすべて消去されます。必要に応じて、初期化前の情報を保存しておくことをお勧めします。

1 **「リセット」ボタンをクリックする**

2 **確認画面が表示されたら、「はい」をクリックする**

設定内容の保存・読み込み

本製品の設定情報をファイルとして保存し、保存したファイルを読み込むことができます。

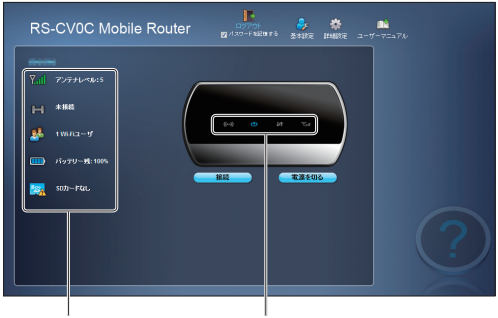
バックアップ(保存)	①「バックアップ」ボタンをクリックする ② ダウンロード先を指定してファイルをダウンロードする
リストア(読み込み)	①「参照...」ボタンをクリックし、設定ファイルを選択して「開く」をクリックする ②「リストア」ボタンをクリックする ③ 読込みが完了したら、「OK」をクリックする

6 状態表示・デバイス操作

デバイス状態……114
手動接続・切断……117
電源を切る……118

デバイス状態

本製品のホーム画面では、状態表示アイコンとデバイスモニタによって本製品の無線状態や接続状態およびランプ表示などの各種デバイス状態を確認することができます。



状態表示アイコン　　デバイスモニタ

■状態表示アイコン

3Gアンテナレベル	3Gの電波状態を表示します。 圏外 / アンテナレベル1 / アンテナレベル2 / アンテナレベル3 / アンテナレベル4 / アンテナレベル5
接続状態	インターネットへの接続状態を表示します。 未接続 / WCDMA未接続 / WCDMA接続 / HSUPA未接続 / HSUPA接続
WiFi接続ユーザー数	Wi-Fi接続ユーザ数を表示します。 0 WiFiユーザー ユーザー数は0〜5で表示します。 表示数にはUSBケーブルで接続しているユーザーは含まれません。

バッテリー状態

ACアダプタから充電している場合は充電状態を表示します。

	充電中…、充電完了

USBケーブルでパソコンに接続している場合は、充電状態を表示します。

	充電中…、充電完了

WiFiで接続している場合は、バッテリー残量の目安を表示します。

	0%		51～75%
	1～25%		76～100%
	26～50%		

microSDカード識別状態

本製品に取り付けたmicroSDカードの識別状態を表示します。

	SDカードなし
	SDカードあり

■デバイスモニタ

3Gアンテナランプ

3Gの電波状態を表示します。

赤点灯	USIMエラー、PIN認証失敗、圏外
緑点灯	アンテナレベル低
青点灯	アンテナレベル高
消灯	電源オフ、スリープモード

ネットワークランプ

インターネットへの接続状態を表示します。

青点滅(ゆっくり)	インターネット接続待ち
緑点滅(はやい)	発信中
赤点滅(はやい)	発信失敗
青点灯	インターネット接続完了
消灯	電源オフ、通常動作モード、スリープモード

<table>
<tr><td>電源ランプ
</td><td>電源状態を表示します。<table>
<tr><td>青点灯</td><td>正常</td></tr>
<tr><td>緑点灯</td><td>電池残量「小」</td></tr>
<tr><td>赤点灯</td><td>電池残量がほとんど残っていません。ただちに充電してください。
• 自動的に電源オフになります。</td></tr>
<tr><td>緑点滅（ゆっくり）</td><td>充電状態</td></tr>
<tr><td>ゆっくり点灯・消灯</td><td>通常状態
• 表示色は電池残量状態により異なります。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>電源オフ、スリープモード</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>WiFi/WPSランプ
</td><td>WiFi状態およびWPS接続状態を表示します。<table>
<tr><td>青点滅（ゆっくり）</td><td>WiFiオン</td></tr>
<tr><td>緑点滅（はやい）</td><td>WPS接続確立中</td></tr>
<tr><td>緑点灯（5秒間）</td><td>WPS接続確立完了</td></tr>
<tr><td>赤点灯（5秒間）</td><td>WPS接続確立失敗</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>WiFiオフ、電源オフ、スリープモード</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

手動接続・切断

本製品のホーム画面から、手動でインターネットへの接続・切断を行うことができます。

●本製品のお買い上げ時には3G接続モードが「自動」に設定されています。
3G接続モードの設定を変更する場合は「3G接続設定」を参照してください。

■手動接続

1 「3G接続設定」の手順を実施する

2 本製品のホーム画面を表示し、「接続」ボタンを押す

- ネットワークランプが緑点滅となり接続を開始します。
- 接続に成功するとネットワークランプが青点灯になります。

■手動切断

1 インターネットに接続している状態で、本製品のホーム画面を表示し、「切断」ボタンを押す

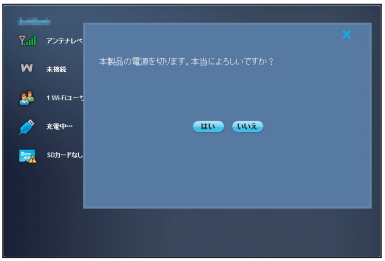
- 切断に成功するとネットワークランプが青点滅になります。

電源を切る

本製品のホーム画面から、手動で電源を切ることができます。

1 本製品のホーム画面を表示し、「電源を切る」ボタンを押す

2 「本製品の電源を切ります。本当によろしいですか？」と表示されるので、「はい」をクリックする



- 本製品の電源が切断され、電源ランプが消灯します。
  なお、USBケーブルで接続している場合は、充電モードに切り替わり、緑点滅（充電中）表示となります。

7 付録

困ったときは……120
用語集……124
仕様……126

困ったときは

Q 電源が入らない

A 電池パックは正しく取り付けられていますか。
電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。(☞ 26ページ)

電池パックの電池残量は十分ですか。
電池残量が少なくなっている可能性があります。電池パックを充電してください。(☞ 29ページ)

Q 無線LAN機器が接続できない

A 本製品のWiFi/WPSランプが青点滅になっていることと、お使いの無線LAN機器の無線LAN機能が有効になっていることを確認してください。

Q インターネットに接続できない

A
- **3Gアンテナランプが緑または青点灯になっていることを確認してください。**
- **接続先設定が正しく設定されていることを確認してください。(☞ 86ページ)**

Q 通信がすぐ切れる

A
- **電波状態が良くない可能性があります。**
  電波状態の良いところで確認してください。
- **電池残量が少なくなっている可能性があります。**
  充電をしてください。(☞ 29ページ)
  通信中は充電されないため、ご注意ください。
- **本製品と無線LAN機器を無線LANで接続している場合は、本製品の電源を切ってからもう一度電源を入れてください。**

Q 通信速度が遅い

A
- **3Gまたは無線LANの電波状態が良くない可能性があります。**
  電波状態の良いところで確認してください。
- **3Gネットワーク回線の状態が良くない可能性があります。**
  時間を置いてから再度試してください。

Q USBケーブルで接続したパソコンが本製品を認識しない

A 本製品とパソコンが正しく接続されているか確認してください。本製品をパソコンから取り外し、パソコンを再起動後、再度接続してください。

Q ホーム画面が表示されない

A IPアドレスは「自動取得」になっていますか。

「自動取得」を設定しているときは、IPアドレスが正しく取得されているか確認してください。初期値では本製品のIPアドレスは、「192.168.1.1」に設定されています。本製品にアクセスするには、パソコンが「192.168.1.＊＊＊」のIPアドレスを取得している必要があります。
（＊＊＊には任意の数字が入ります。）

Webブラウザの設定を変えていませんか。

Webブラウザにプロキシサーバの設定をしていると、プロキシサーバに接続しようとするため、ホーム画面にアクセスできないことがあります。その場合は下記の手順で設定を解除できます。

<Internet Explorerの場合>

① メニューの「ツール」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックする
② 「接続」をクリックし、「LANの設定」をクリックする
③ 「自動構成」と「プロキシサーバー」のチェックをすべて外し、「OK」をクリックする
④ 「OK」をクリックして、「インターネットオプション」を閉じる
⑤ Internet Explorerを終了し、パソコンを再起動する
⑥ 再度Internet Explorerを起動し、本製品のホーム画面にアクセスする

Internet Explorerでセキュリティを高く設定していると、本製品のホーム画面が表示できない場合があります。その場合は、Internet Explorerでセキュリティ設定に「信頼済みサイト」としてホーム画面を登録してください。

<Internet Explorerの場合>

① メニューの「ツール」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックする
② 「セキュリティ」をクリックする
③ 「信頼済みサイト」をクリックし、「サイト」をクリックする
④ 「次のWebサイトをゾーンに追加する」に「http://192.168.1.1/」を入力する
⑤ 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする」のチェックを外し、「追加」をクリックする
⑥ 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる

⑦ Internet Explorerを終了し、パソコンを再起動する
⑧ 再度Internet Explorerを起動し、本製品のホーム画面にアクセスする

管理者パスワードは正しく入力されていますか。
パスワードの初期値は、「password」です。ただし、パスワード変更後にパスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンを4秒間長押しし、お買い上げ時の設定に戻してください。（☞ 25ページ）
その場合は、お買い上げ後に変更した内容はすべて消去されますので、再設定が必要になります。

Q ホーム画面での初期設定が完了しても、インターネットに接続できない

A IPアドレスは正しく取得できていますか。
お使いのパソコンでIPアドレスを自動取得するように設定していても、IPアドレスが取得できない場合は、ネットワークの設定に問題がある可能性があります。下記を行ってください。

- **「IPアドレスの開放と更新」を行ってください。**

＜Windows 7/Vista/XPの場合＞
① コマンドプロンプトを起動して、IPアドレスを再取得する
Windows 7/Vistaの場合：
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を右クリックして「管理者として実行」をクリックし、起動する
Windows XPの場合：
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックして起動する
②「ipconfig-release」を入力し、「Enter」をクリックする
③「ipconfig-renew」を入力し、「Enter」をクリックして、IPアドレスを再取得する
④「ipconfig-all」を入力し、「Enter」をクリックする
- IPアドレスを確認してください。

<Mac OS 10.4.11以降の場合＞
①アップルメニューから「システム環境設定」を選び、「ネットワーク」をクリックする
②「AirMac」を選び、「TCP/IP」をクリックする
③「DHCPリースを更新」をクリックし、「今すぐ適用」をクリックする

- **無線LAN接続が確立していない可能性があります。本製品の暗号化設定を確認して、パソコン側の無線LAN接続設定を再度行ってください。**（☞ 35ページ）
- **本製品の電源を切ってからもう一度電源を入れてください。**
- **パソコンのIPアドレスが本製品のDHCPサーバ機能を使って自動取得される場合、本製品から先に電源を入れてください。**

無線LAN機器に設定されているSSIDや無線LANセキュリティ設定は本製品と同じになっていますか。

本製品と無線LAN機器の設定内容が異なると、無線LAN通信はできません。本製品の基本設定（☞ 78ページ）と無線LANセキュリティ設定（☞ 80ページ）と同じ内容を、無線LAN機器側に設定してください。

電波状態が悪い可能性があります。

- 本製品と接続する無線LAN機器と本製品とを通信できる距離まで近づけてください。間に障害物などがある場合は、取り除いてください。
- 本製品の使用チャネルを変更してください。（☞ 79ページ）。
- お使いの無線LAN機器の無線LAN機能が有効になっているか確認してください。

Q 電池の利用可能時間が短くなっている

A 使用環境や使用状況によって電池の利用可能時間が短くなることがあります。

電波状態によっては、消費電力が増えるため利用時間が短くなることがありますが、故障ではありません。

用語集

【3G】
第3世代の携帯電話方式の総称です。ITU（国際電気通信連合）によって定められた「IMT－2000」標準に準拠したデジタル携帯電話のことです。日本では、W-CDMA方式とcdma2000方式があります。

【DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）】
パソコンなど無線LAN機器をTCP/IPネットワークに接続する際に、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り振る方法です。DHCPサーバ機能はLAN側の無線LAN機器に自動的にIPアドレスを割り当てる機能です。

【DNS（Domain Name System）】
IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。

【SSID（Service Set Identifier）】
無線LANアクセスポイントを識別するためのIDのことです。
通信可能な範囲に無線LANアクセスポイントが複数ある場合、接続するアクセスポイントを指定するときに利用します。

【HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）】
携帯電話で使用されるW-CDMA方式を高速化した、データ受信用の方式です。

【HSUPA（High Speed Uplink Packet Access）】
携帯電話で使用されるW-CDMA方式を高速化した、データ送信用の方式です。

【MAC（Media Access Control）アドレス】
媒体アクセス制御アドレスを意味し、LAN上のパソコンなどの無線端末を識別する一意のハードウェア番号です。

【NAT（Network Address Translation）】
複数のユーザーが同時に1つのグローバルIPアドレスを共有できるようにする機能です。パソコンなどがインターネットにアクセスするとき、このNAT機能が変換テーブルを使用して、IPアドレスおよびポートをグローバルからローカルに、また逆にローカルからグローバルに変換します。

【UPnP（Universal Plug&Play）方式】
ネットワーク機器同士の相互自動認識方式です。UPnP方式とは、デバイスのプラグアンドプレイ（PNP）機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワークデバイスやサービスの検出と制御を可能にするものです。

【W-CDMA（Wideband Code Division Multiple Access）】
第3世代移動通信システムの規格で、日本でNTTドコモなどが採用している通信方式です。

【WEP（Wired Equivalent Privacy）】
無線LANの国際規格IEEE802.11で決められている暗号化技術です。アクセスポイントと端末の両方で、同じ文字列からなる暗号キーを設定しておき、そのキーを使ってデータの暗号化や複合化が行われます。
64 Bit、128 Bitの2種類があり、ASCII文字（半角英数記号）やHEX（16進数：0～9、a～f）を入力し暗号キーを作成します。

【WPA（Wi-Fi Protected Access）】
通信内容を設定した暗号キーを使って暗号化するセキュリティ機能の1つです。暗号キーは一定時間ごとに変わるTKIPを採用しており、WEPよりも解読されにくくなっています。本製品では、「WPA pre-shared key」と「WPA RADIUS」の設定ができます。

【WPA2（Wi-Fi Protected Access2）】
WPA2は「Wi-Fiアライアンス」が策定した規格で、米標準技術局（NICT）が定めた暗号化標準「AES」を採用しており、128～152 Bitの可変調キーを利用した強力な暗号化が可能です。その他はWPAとほとんど変わらないため、WPAとWPA2との混在した環境でご利用できます。

【WPS（Wi-Fi Protected Setup）】
無線LAN関連の業界団体「Wi-Fiアライアンス」が定めた無線LANの簡単設定規格です。「プッシュボタン方式」と「PINコード方式」の2つの方式があります。ボタンを押す、またはPINコードを入力して、WPS機能に対応した無線LAN機器を本製品に簡単に接続することができます。

【チャネル】
無線LANでの通信に使用される無線周波数で、無線LANでは、2つ以上のサブチャネルに分割された2.4 GHzの周波数帯を使用します。使用可能なチャネルは、各国の法令により規制されており、日本国内では、チャネル1～14が使用できます。本製品の使用可能なチャネルは1～13です。

【ファイアウォール】
インターネットを利用する際のセキュリティ機能です。WAN側からLAN側への不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとのやり取りができるパソコンなどの端末を制限したり、LAN側から利用できるインターネットサービスを制限したりします。

【ポート番号】
通信を行うアプリケーションとTCPまたはUDPを対応付ける番号のことです。

【IPアドレス】
インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、パソコンなどを識別するための番号です。32 bitの値をもち、8 bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表します。（例：192.168.0.10）

【TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）】
インターネット上での伝送用プロトコルのことです。

仕様

製品名	MOBILE ROUTER
型名	RS-CV0C

無線LAN部

対応規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b準拠 • 無線LAN標準互換プロトコル準拠
周波数範囲	2.4000GHz～2.4835 GHz（1～13ch）
伝送速度※	IEEE802.11b：11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps
アンテナ方式	内蔵アンテナ
セキュリティ	WPA-Personal（TKIP/AES）、WPA2-Personal（TKIP/AES）、WPA/WPA2-Personal、WEP（64/128bit）
自動無線設定機能	WPS

※ 伝送速度の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

3G部

対応規格	3GPP W-CDMA release 99 HSUPA release 6 HSDPA release 5 HSDPA release 7/8
周波数範囲	Band Ⅰ 上り：1920 MHz～1980 MHz 下り：2110 MHz～2170 MHz Band Ⅵ上り：830 MHz～840 MHz 下り：875 MHz～885 MHz
伝送速度	W-CDMA 384 kbps HSDPA 7.2 Mbps HSUPA 5.7 Mbps
アンテナ方式	内蔵アンテナ

ルータ機能

ルーティング対応プロトコル	TCP/IP
インターネット（WAN）接続方式	IPアドレス自動取得接続、IPアドレス固定接続
LAN接続方式設定	DHCPサーバ（有効／無効）、固定IPアドレス（手動設定）
セキュリティ	MACアドレスフィルタリング、IPアドレスフィルタリング
ローカルサーバ機能	ダイナミックDNS（DDNS）

ハードウェア機能

電源インターフェース	microUSBコネクタ×1
ボタン	電源/コネクトボタン、WLAN/WPSボタン、リセットボタン
消費電力	約2.5 W（通信時最大） 約1.5 W（通信時一般） • 使用状況により消費電力は変化します。
電源	ACアダプタ：入力：AC100-240 V（50/60 Hz） 出力：DC5 V、650 mA
	電池パック：3.7 V、1500 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約50.7×95.9×14.1 mm（本体のみ）
重量	約85 g（電池パック含む）
動作時環境	温度：0〜45 ℃ 湿度：10〜90 %（結露なきこと）

お願い

●製品仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

製造元：株式会社 ネットインデックス
〒025-0323　岩手県花巻市椚ノ目 2-32-1
URL　http://www.netindex.co.jp/
TEL : 03-3370-6630

第1版　2011年3月